

# 社会福祉法人養徳園

## 令和4年度事業報告

### 喜連川グループ

児童養護施設 養徳園

地域小規模児童養護施設オアシスの家

地域小規模児童養護施設野辺山の家

児童家庭支援センターちゅうりっぷ

夜間・休日体制整備事業（児童虐待緊急ダイヤル）

### 氏家グループ

児童養護施設氏家養護園

地域小規模児童養護施設みやこ家

南小学童保育センター

~~南っ子食堂~~（コロナ禍で休止）

## 令和4年度事業報告（養徳園）

### 1 運営全般について

令和4年度事業計画に基づき、基本的な生活援助の充実や心理面に配慮した援助に努めたほか、養育のガイドラインの策定を目指し、生活の質の向上、生い立ちの整理と育ちアルバムの実践、性的問題・子ども暴力への対応、学習の充実、職業指導・リービングケア及びアフターケアの強化、施設養護におけるソーシャルワークの充実、里親委託の推進を重点目標として児童援助の向上に努めた。

また給食、環境美化、安全管理、広報、運営改善並びに特別委員会として性教育委員会を設け職員の一致協力の下、施設運営にあたった。広報誌「オアシス」を年3回発行するとともに、ホームページ、ブログ「養徳園日記」を通じ情報の公開に努めた。

行事の運営についてはコロナウイルスの拡大状況に鑑み、実施できる形を模索しながら職員が工夫して運営に当たったが、外部の方をお招きしての「クリスマス会」や「感謝の日」「OB・OG会」等は中止せざるを得ず次年度の開催を期待したい。

ユニット運営については、児童、職員のコロナウイルス感染が続きユニットを閉鎖しての感染拡大予防対策をとりながら対応した。子どもたちには窮屈な思いをさせたが、幸いに重症化することなく回復することができた。また感染拡大を防ぐために、少人数に限定し出入りも制限する中でのユニット対応をしてくれた職員には感謝したい。

令和4年度は第三者評価の受審年となっており、職員による自己評価、アンケート、各種調査を受けた。特に評価の高い点としては○学習環境の整備と進路の自己決定に向けた手厚い支援、○標準の実施方法の充実及び見直しの仕組み、○経営環境の変化に伴う適切な対応があげられ、改善を求められる点としては○課題の明確化及び計画的な改善の実施、○子どもの満足の向上を目的とした仕組みの整備、○職員の就業状況・意向の把握、働きやすい職場作り、の指摘を受けた。結果を真摯に受け止め、よりよい施設運営につなげたい。

### 2 児童の動向

#### (1) 学年別在籍数

令和4年4月1日現在（オアシスの家、野辺山の家を含む）

	未就学児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他	計
男	2			3	1	3		2		2	5	1	4	1	24
女		3	2	2	1		1	1		2	3				15
計	2	3	2	5	2	3	1	3		4	8	1	4	1	39

令和5年4月1日現在（オアシスの家を含む）

	未就学児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他	計
男				1	3	2	4		3		4	5		1	23
女	1		3	2	2	1	1	1	1		2	3			17
計	1		3	3	5	3	5	1	4		6	8		1	40

(2) 月別入所者の状況（措置児童）

月	性別	初日 在籍数	入所数	退所後				月末 在籍数
				家庭復帰	措置変更	就職進学	その他	
4	男	23	1	1				23
	女	17						17
5	男	23	1					24
	女	17	1					18
6	男	24	2					26
	女	18	1					19
7	男	26						26
	女	19	1					20
8	男	26						26
	女	20						20
9	男	26						26
	女	20						20
10	男	26						26
	女	20						20
11	男	26						26
	女	20						20
12	男	26					1	25
	女	20						20
1	男	25						25
	女	20						20
2	男	25						25
	女	20	1					20
3	男	25				4	1	20
	女	20	1				1	20

(3) 一時保護委託・レスパイトケア利用状況

一時保護

年齢・学年・性別	児相	期間	年齢・学年・性別	児相	期間
小6男	県北	5/12~5/26	小4男	県北	11/17~11/18
3歳女	県北	5/12~5/26	小4男	県北	11/29~12/16
小5女	県北	6/6~6/20	小1男	県北	12/1~12/2
小4女	県北	6/6~6/20	小1女	県北	12/2~2/1
3歳女	県北	6/23~7/1	小1男	県北	12/20~1/31
高1男	県北	6/19~7/1	小5男	県北	1/4~1/17
小1女	県北	6/30~7/8	高1女	県北	1/22~3/29
中2女	県北	7/9~8/26	6歳女	中央	3/2~3/6
5歳女	中央	7/18~7/24	3歳男	中央	3/2~3/6
3歳男	中央	7/18~7/24	高1男	県北	3/23~4/1
5歳男	県北	9/12~11/11	小5男	県北	3/29~4/12
2歳女	県北	9/12~11/11	6歳女	中央	3/31~
中3女	県北	9/28~3/3	3歳男	中央	3/31~

レスパイトケア

年齢・学年・性別	児相	期間	年齢・学年・性別	児相	期間
高2女	県北	3/27~4/4	中1男	県北	8/14~8/15
中1男	県北	5/4~5/5	中1男	県北	10/8~10/10
小1男	県北	7/10	中1男	県北	12/29~12/31
小4男	中央	8/1~8/14	小4男	中央	3/27~4/6

(4) 高校進学、卒園生の進路等

中学卒業生

宇都宮短期大学附属高校調理科（在園）、矢板中央高校普通科3名（在園）

高校卒業生

帝京大学医療技術学部柔道整復学科進学、アイエス工業株式会社就職、南大門就職

ひびき

3 養護の状況

(1) 給食

毎月行う献立会議を給食委員会時に行った。

嗜好調査は年2回（夏、冬）に行い、調査内容についてまとめた。子どもの発達に必要な栄養バランス及び嗜好を考慮し食事を提供した。月に1回、調理場より手作りおやつを提供。（行事が多い月は提供できず）令和5年度も継続したい。

コロナ禍という状況だったが、夏休みクッキング体験（ピザ作り、クレープ作りなど）は行うことが出来た。令和5年度は簡易な形ではなく、参加している子供たちが達成感を感じるようなクッキング体験にしたい。

## （2）健康管理

嘱託医の花塚医師による健康診断を前期は令和4年6月17・21日、後期は令和4年10月22日に実施した。野澤歯科医院にて歯科検診は6月21日に実施した。

### ① 予防接種 総数 104件

日本脳炎12件、二種混合4件、子宮頸がんワクチン1件、  
新型コロナウイルスワクチン 61件、インフルエンザ26件

### ② 健診

3歳児健診 3名

### ③ 通院 総数 469回 うち処方あり 246件

内科 19件（花塚クリニック、黒須病院）

外科 19件（黒須病院、獨協医科大学病院、国際医療福祉大学塩谷病院）

小児科 89件（おの子どもクリニック、小林医院、済生会宇都宮病院、  
国際医療福祉大学塩谷病院、黒須病院、自治医科大学附属病院）

眼科 21件（早坂眼科、かとう眼科）

皮膚科 27件（檜山医院）

整形外科 61件（半田クリニック、国際医療福祉大学塩谷病院）

耳鼻咽喉科 25件（中川耳鼻咽喉科）

歯科 73件（野澤歯科、和田矯正歯科）

婦人科 3件（さくら産院）

精神科 132件（なす療育園、岡本台病院、つむぎクリニック）

### ④ 入院 2件

岡本台病院精神科病棟

入院期間 令和5年2月8日～2月22日

済生会宇都宮病院 てんかん発作疑いあり脳波検査、MRI検査のための入院

入院期間 令和5年3月7日～3月9日

## （3）援助の実際（重点項目をテーマに園内研修を実施）

### ① 生活の質の向上

〈前期実施日：4月22日13：30～〉

○3年目以上の職員は、各ユニットでマニュアルの読み合わせと新しい事例の追加作業を行った。

○新任職員～2年目までの職員は別室にてマニュアルの読み込みを行った。

生活の質の向上の取り組みひとつとして援助マニュアルの読み込み。また経験《事例》を書きこむほどいろんな観点から実態がわかるため、マニュアルの中に取り入れることとなった。今回は研修時間が短いため、水色の部分（福田総合施設長の本から抜粋したもの）の読み合わせを行い、項目ごとに森統括主任、加藤園長先生より助言をもらった。

〈後期実施日：令和4年10月21日13：30～〉

○日常の些細な出来事を相談し、意見のすれ違いを少なくし、ユニット経営の目的を共有するというねらいで、今までのこどもたちとのやりとりで困ったこと、他職員に聞きかかったこと、共有しておきたいことについて各ユニットで話し合った。

終了後、とてもいい時間だったという声が多かった。

○森統括主任、加藤園長先生より助言をもらった。

〈令和5年度版 援助マニュアル作業について〉

○職員全体からの意見として

- ・マニュアルと事例を分けてほしい。
- ・ページ番号をふってほしい。
- ・文章が途中で切れている、文章が抜けている、分からない言葉集空欄をうめてほしい。
- ・分からない言葉集は、辞書のように使えとても良い。

以上のような意見をもとに作業に取り組んだ。

〈反省・感想・課題〉

- ・援助マニュアルでの、分からない言葉があまり見つからなかった。また、気が付いてもすぐに記録ができなかった。
- ・マニュアル作成の進行状況などがあまりわからず携わることが少なかった。
- ・日常の些細なことを話し合えた研修はとても良かった。新人としては、こんな小さなことを相談してもいいのだろうかと思っただけで、研修でそういった場を設けていただけで凄く勉強になった。また、上司の方とのコミュニケーションがよりとれる機会が増えたと思う。
- ・研修を通して、普段ゆっくりと話せないことが共有でき、とても良かった。
- ・研修では、ユニット内で子どもたちの課題や職員の困っていること、アドバイスをもらいたいことなど、お互いの意見・情報交換ができ、とても有意義な時間になったので良かった。

- ・エピソードの配信は、私自身も読んでみて、ほっこりするものばかりで良いと思った。来年度も継続してほしい。
- ・エピソードの配信は、定期的なマニュアルの見直しにつながり良かったと思う。
- ・研修内容に関して、若手職員から「語る」をテーマに、前期にユニット内の目的を共有し取り組み、後期には、どのようなやり取りを積み重ねられたのかを話し合い、全体で共有し次につなげたいとの意見があった。研修後、各ユニットからとても良い時間だったとの声が多く聞かれた。今後も若手中心に継続していければと思う。
- ・養徳園日記でのエピソード配信については、施設職員なら伝わる内容の事例が多いため、HPを開いて読んでくれた相手に誤解が生じないように、掲載内容には注意を払いたい。
- ・厨房に内容をお願いし、年間の行事食一覧をマニュアルに加えた。
- ・来年度の援助マニュアルは、新任職員オリエンテーションに間に合うように作成したい。
- ・忙しい中で、若手職員が一生懸命取り組んでくれた。
- ・養徳園日記のエピソード配信について、掲載して良いものとそうでないものの判断が難しいと感じた。

## ② 生い立ちの整理と育ちアルバム

〈令和4年6月22日〉

- 新任職員向け講座 森さんより講話

- ・養徳園における「育ちアルバム」「育てノート」の在り方
- ・なぜ、ライフストーリーワークが必要か？

→養徳園を卒園、途中対処しても次の養育者につなげ、その子の軌跡がたどれるようにするため。

\*終わり次第、下記同様

- 各自、生い立ちの整理に必要な児童育成記録の読み込みを行う。
- 加藤園長先生より

生い立ちの整理や育てノート等、一回話を聞いただけでは難しい。何度も本を読んだり、調べて再確認している。自分たちのやっている意義を理解する。

育成記録については、年月日の記入、解除についても経緯が書かれてなく、後々困ることもある。特に、重要項目についてはきちんと記入しておくこと。

〈令和5年2月22日〉

「育てノート」の重要性を再確認することを目的とし、子どもの年表作りを各自行う。

その後、ユニットリーダー・グループリーダーより着眼点について発表する。

- 加藤園長先生より

自分の担当になった子の児童記録はよく読むように。児相にもお願いして、情報の共有をする必要がある。

子どもの育成記録は、いつのことかわからないこともあるので、年月日の記入は、必要。日常のベースがあって成り立っていくので、日ごろのケアにあたってもらいたい。

○福田総合施設長より

情報を見て、ぱっと見ればわかるような時代になってきている。

この施設で生活し、どういう環境で育ってきたのか記録することで、ケアワークの反省点がわかって来るのではないかと思う。

〈今後の課題〉

職員の経験年数により、児童記録の読み込みの理解度も変わって来るので、経験年数により研修内容も変えていいのではないだろうか。

子どものライフストーリーワークがつながるよう、養育者が変わる場合は引継ぎをしっかりとる。

### ③ 性的問題・子ども間暴力への対応、被虐待児への治療的アプローチ

児童相談所による面接は、それぞれの子どもの必要性に応じて、児相の心理職員が来園し本園にて面接が行われた。また、県北児相の被虐待児フォローアップ事業に2名（小4男児1名、小4女児1名）が月1回の割合で参加し、グループワークが行われた。

施設内の心理療法は、令和4年度も心理療法実施指定施設の認可を受け、17名の児童に対してプレイセラピー、面接（心理検査、入所アセスメント面接を含む）、生活場面面接等を実施しながら心理療法を行った。実施回数は以下のとおり。

心理療法 234回    生活場面面接 48回    コンサルテーション 79回

この他、直接子どもと関わらずに、児相、学校、病院等のカンファレンスや情報交換などに参加させてもらい、子どもに対して、共通の理解が得られるよう努めた。

### 成果と課題

今年度、コロナ感染による安全面（換気の確保、健康状態チェック等）、自活訓練室に高校生が入居したことによって、不規則な人の出入り等、面接構造（邪魔されない空間）の確保が難しかったが、対象児童にはできるだけ毎週1回の時間を確保するように努めた。また、里親委託になった子どもの里親への面接も継続的に行った。里親委託については、児童相談所と協議し、連携をとるように努めた。委託される子どもの様子を共有することによって、生活の場の移行については、以前よりも子どもへの配慮ができたと思われる。

里親委託については、児童相談所と連携がとれたことはよかったが、里親の困り感や、マッチング期間中の様子を踏まえた話し合いの機会が少なく、里親側の児相対、子ども側の施設という構図ができてしまったように感じた。里親委託については、今後、施設ができることや求められていること整理し、里親家庭に対して支援ができればと思われる。

#### ④ リービングケア・アフターケア

次のレジュメに沿って自立支援の現状を報告し、グループに分かれて話し合いを行った。

##### 子どものケアの連続性

- ・アドミッションケア：児童養護施設に入所する前後の支援。施設に入所する前の準備期間における支援や生活リズムを整え、関係機関と協働しながら、子どもたちの入所後の生活の安定を図っていく。
- ・インケア：子どもたちの生活に寄り添い、衣食住を支えることが中心。日々のケアを指す。
- ・リービングケア：施設を退所する前、その準備に関する支援を指す。子どもの家庭復帰等の新生活にスムーズに移行できるようサポートする。
- ・アフターケア：巣立った後の継続的支援。児童福祉法で義務付けられているが、具体的内容は自治体や施設によってかなりのばらつきがある。

児童養護施設の現状（厚生労働省 令和2年3月末）

- ・施設数 612 か所 ・定員 31,494 名 ・現員 24,539 名

退所後に、困ったことを相談する相手（東京都 令和1年）

- ・①施設の職員②友人・知人③学校の友人・知人④親・親族⑤施設の友人・知人の順になっている。

##### とちぎユースアフターケア事業協同組合

- ・社会的養護のもとで育った人の自立を支えるため、生活・就職相談や進学支援などをおこなっている。

業務（支援）内容

- 1 生活相談・就労相談（相談支援員、キャリアカウンセラーによる支援）
- 2 資金の給付（大学等進学応援事業）・貸付（生活資金等）
- 3 自助グループの育成（社会的養護で育った人同士の交流を図る）
- 4 自立する前の児童への支援（自立支援プログラム等、入所児童への支援）

アフターケア事業所

全国 32 団体（令和4年5月 アフターケア事業全国ネットえんじゅ）

インケア・リービングケア（自立につながる日々のケア）

- ・グループごとに具体的なケースを設定して話し合いを行った。

##### 成果

- ・自立に関する情報共有ができた。
- ・ユースアフターケア事業協同組合との連携について、特に具体的な支援（相談やお金貸付

等)の支援の種類を知ることができた。

- ・その子にとって「今どのような支援・処遇が大切か」を話し合うことで、担当の児童の支援を考えるきっかけとなったと思われる。

#### ⑤ 学習の充実

- ・公文学習については、なぜやるのか公文の意義を知り子どもたちにもなぜやるのかを説明できるようにする。職員のそれぞれが抱えている学習支援の悩みや各子どもの課題を共有しあい、援助方法のヒントを見つける。

#### ⑥ 里親委託の推進

##### 研修の内容

- 里親の種類や里親になるまでなど、里親制度の基本的なところを TFC のパンフレットを利用しながら学んだ。
- 委託に向けた流れについては、マッチングから外出、外泊に向けた流れについて説明を行い、実際に担当児童が里親委託に向けたマッチングを実施している職員（寺澤さん、佐藤さん、古川さん）に担当としての思いなどを話していただいた。
- 里親委託を進める理由や、里親委託が進まない理由、里親委託後の不調もあることの理解を深めた。
- 「ふれあい里親」について、本来の目的について説明をし、ふれあい里親を利用している児童を担当している職員（万年さん、金澤俊さん）に感想や児童の様子について話をいただいた。
- 里親支援について、里親会、TFCなどの支援機関があることを学んだ。
- 今後の里親について、実親と交流がある児童が里親委託となるケースが増えていくことや、ショートステイの受け入れ先として里親が担っていくことになることを学んだ。
- 里親として子どもを養育してよかったことについて、里親から聞き取ったことを共有した。
- 体験談として、芳村専門里親（氏家養護園里専）からこれまでの受託経験についてなど話していただいた。
- 10月からさくら市で始まったショートステイ里親の説明を行った。

##### 成果・反省・課題等

- ・里親制度の基本的な部分については、パンフレットを用いることでより分かりやすく理解する機会となった。
- ・講義形式の研修会となったことで、実際に里親との関わりがない児童の担当職員にとっては分かりにくい部分もあったのではと感じる。
- ・グループワークなどを取り入れ、架空事例などを用いて里親支援について考えるなどの工夫が必要であると感じた。

・ショートステイ里親については、実際に始まったばかりの事業ということもあり、研修する側が全体をつかめていない状態での報告となってしまった。

#### (4) 社会教育への参加

・野球教室

小学生5年生2名、3年生1名、2年生1名が地域の野球（喜連川フォックス）に参加。

#### (5) 育成会活動

本園では、地域交流の一つとしてさくら市子ども会連合会に養徳園子ども会として小学生から高校生まで、またケアワーカーを中心に職員も加入して活動に参加している。

地域小規模児童養護施設「野辺山の家」も、その地域の子ども会に加入して活動に参加している。

##### 活動内容

連合会主催の夏のワクワクキャンプについては新型コロナウイルス感染症の状況により残念ながら中止となった。

一方コロナ感染対策を十分に考慮しながら、園内グループ毎に日帰り行楽、プール、映画、野外活動等に出かけ、思い出づくりを行った。

##### 成果・課題

今年度もコロナ感染の心配により、地域のお祭りを含め多くの行事・催しが中止・延期になったりした。その中で、感染対策を十分にしながら少人数で安全・安心な範囲の行事を行うことができた。今後もコロナの状況をみながら実施していくことが大切となる。

#### (6) 防災訓練

##### 活動内容

・年間防災訓練計画の作成、それに基づき各月に避難訓練及び消防訓練を行う。また、緊急連絡網（LINE）の作成、緊急時対応マニュアルの配布、各ユニットに避難経路等の確認を行う。さらに12月には喜連川消防署協力による総合消防訓練として、通報訓練・避難訓練、水消火器による実習訓練を行った。非常時用バッグ、非常時の備品、賞味期限など定期的に確認して万一の事態に備えている。

「AED」講習については、コロナ感染対策の状況で実施できず。代替えとして新入職員へAED対応マニュアルの資料を配布した。

##### 成果・課題

・避難訓練は各月に実施。その訓練時には講話を行い、防災意識を高めるために、火の特徴・煙の怖さ・火事の原因などのイラストを見せるなどして講話を行った。子どもたちも興味・関心をもって参加している。

・12月の総合消防訓練は、消防署員に協力いただき実施して、万一に備えての貴重な経験に

なった。またその際に、消防自動車・救急自動車を見学し、児童は興味をもって説明を受けていた。

- ・非常食の賞味期限を確認して、処分・不足分補充を行った。
- ・非常時防災バッグの中身のチェック、補充を行った。
- ・緊急連絡網について、LINE を利用してスムーズかつ正確に伝えるための方法を初めて取り入れた。報告が迅速に伝えられるようになった。

#### 4 委員会活動（別紙参照）

#### 5 行事

種別	日時	行事名	場所（行先）	参加者数		
				児童	職員	その他
園内行事	5/2,5/5	GW 外出（なのはな）	TOHO シネマズ	6	4	
	5/4	GW お楽しみ日帰り旅行（福田H）	宇都宮動物園、ベルモール	4	4	
	5/7	GW おでかけ（すずらん）	那須ハイランドパーク	4	4	
	5/7	GW お出掛け（あすなろ）	アングラーズパークキングフィッシャー	4	2	
	5/8	GW お出掛け（オアシス）	戦場ヶ原～霧降高原	6	9	
	7/7	七夕	本園ホール			
	7/16	奉仕作業	園庭草刈り	全児童	全職員	
	7/18	公文集中勉強会	研修室	20	5	
	8/3~8/22	夏休みクッキング体験	2たんぼぼ、3オアシス、5野沢、9野辺山、17あすなろ、18すずらん、19福田H、22なのはな			栄養士が各ユニットを訪問
	8/8~8/9	オアシスサバイバルキャンプ	銀山平公園キャンプ場	6	3	
	8/8~8/9	一泊旅行（福田ホーム）	鬼怒川朝やホテル	5	4	
	8/10	夏休み旅行（すずらん）	栃木カヤックセンター	5	3	
	8/10	川遊び・BBQ	大蛇尾溪谷龍の口オートキャンプ場	5	4	
	8/15~8/16	なのはな旅行	NAOC,鳥野日河川キャンプ場	6	4	
	8/16	あすなろ夏休みレク	佐野フィッシングパル	2	1	
	8/17	夏休みお出掛け（たんぼぼ）	那須サファリパーク	3	2	
	8/19	野辺山レクリエーション	NAOC	5	4	
	8/22	あすなろレクリエーション	宇都宮動物園、ろまんちっく村	3	1	
	10/10	里親交流会	喜連川町内	23	46	89
	10/11,12	七五三前撮り	スタジオアリス	7	5	3
11/13	七五三	御嶽山神社	5	5		

	11/26	創立記念日	生活指導室	35	58	3
	12/3	総合避難訓練	園庭			
	12/10	奉仕作業	園内	全員	全員	
	12/24	クリスマス会	各ユニット			
	1/7	カレンダー制作・講評会	食堂			
	1/28,2/4,2/5	すずらん外出	ラウンドワン、ベルモール	6	3	
	3/3	ひな祭り	各ユニット	全員		
	3/11	スノーボード（オアシス）	たかつえスキー場	4	3	
	3/20	なのはな外出	お丸山ホテル、ラウンドワン、フィッシングパーク	5	4	
	3/25	児童送別会	指導室、食堂	全員	全員	8
招待事業	2/26	キッズニア招待	キッズニア	12	5	

## 6 施設の社会化

### (1) 生活指導室の地域開放

### (2) ボランティアの受け入れ

4/9	藤井産業（株）	BCリーグ野球公式戦 観戦招待
5/8	栃木サッカークラブ	観戦招待
5/28	矢部昭仁様	髪カットボランティア
6/4	光と風の家	読み聞かせ
6/11	土屋利夫様	じゃがいも堀り
6/26	矢部昭仁様	髪カットボランティア
7/27	B&G 海洋性レクリエーション体験会	スライダー・カヌー水上体験
8/8	アルゼンチンサッカークラブ	スポーツレクリエーション
9/10	矢部昭仁様	髪の毛カットボランティア
10/8	矢部昭仁様	髪の毛カットボランティア
10/16	栃木サッカークラブ	観戦招待
11/13	美容室 RICO 様	七五三髪結い・着付けボランティア
11/12	矢部昭仁様	髪の毛カットボランティア
11/19	光と風の家	読み聞かせ
12/3	さくら市更生保護女性会	チューリップ球根植え
12/10	那須ワイズメンズクラブ	クリスマス会招待
12/17	矢部昭仁様	髪の毛カットボランティア
1/28	矢部昭仁様	髪の毛カットボランティア

R5

2/ 5	お寿司で笑顔を届ける会	お寿司食事会
2/ 5	林香君様	陶芸教室
2/18	NPO 法人 森と家をつなぐ会	家具製作・各所修繕
2/25	矢部昭仁様	髪の毛カットボランティア

\*新型コロナの状況をみながら、感染対策を十分にして行った。  
尚、飲食を伴う内容のボランティアは2月から何とか再開となった。

### (3) 社会人先生

令和4年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から開催を見合わせた。

### (4) 感謝の日

令和4年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から開催を見合わせた。

## 7 施設見学・研修・実習生の受け入れ

### (1) 施設実習

(保育士)

〈県内〉

宇都宮共和大2名、TBC4名、宇都宮ビジ電4名、作新短大6名、足利短大4名、  
佐野短大2名、白鷗大2名 小計 24名

〈県外〉

東京家政大3名、大妻女子大2名、聖徳大2名、東京未来大2名、埼玉純真短大2名、  
川口短大 2名 小計 13名

(社会福祉士)

〈県内〉

国際医療福祉大6名 〈県外〉 山梨県立大1名  
小計 7名

合計 44名

## 8 職員研修

### (1) 法人内研修

・社会福祉施設の運営 (大谷・豊岡)

- ・広い視野を持つための勉強会
- ・アタッチメントとトラウマの理解（東）
- ・レジェンドとの座談会（加藤、森、齋藤、酒井）
- ・権利擁護と家庭的養護
- ・社会的養護のこれから
- ・中堅・若手が語る児童養護

## （２） 園内研修

- ・4/22『生活の質の向上』、5/23『学習指導』、7/15『性的問題及び子ども間暴力への対応』、9/22『リービングケア・アフターケアについて』、10/21『生活の質の向上』、11/22『里親について』、2/22『生き立ちの整理と育てノート』

## （３） 施設外研修

### 施設外研修

日時	研修名	場所	参加者
5/5	全国子どもアドボカシー協議会設立記念セミナー	早稲田大学リサーチイノベーションセンター	福田（雅）
5/21	地域総合子ども家庭支援センター・テラ竣工記念セミナー	山梨立正光正園（山梨県甲府市）	福田（雅）
7/6.7	第 57 回関東ブロック児童養護施設研究協議会	ソニックシティ(さいたま市大宮区)	加藤
8/27~3/3 全 10 回	フォスタリングソーシャルワークのための協働関係構築講座	オンライン	永山
9/29	児童養護施設指導者研修	オンライン	栗林
10/7	第 36 回関東ブロック児童養護施設職員研修会	オンライン	人見、栗林
10/8	第 67 回全国里親大会、第 68 回関東甲信越静里親協議会やなまし大会	オンライン	永山
10/10	SBI ブロック別児童養護施設リーダー研修	オンライン	内山、人見、寺澤、福田美
10/25~27	全国児童家庭支援センター研究協議会 熊本大会	児家セン オリーブの木（水俣市） KKR ホテル熊本（熊本市）	福田雅
11/29.30	令和 4 年度フォスタリング期間職員研修	オンライン	永山
12/10.11	日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会 ふくおか大会	福岡国際会議場（福岡市）	福田雅
1/30.31	ファミリーソーシャルワーク研修会	中央福祉学院（ロフォス湘南）	金澤遼
2/6~9	フォスタリングチェンジプログラムファシリテーター養成講座	日本財団ビル（東京都港区）	永山
2/11	令和 4 年度社会的養護における「育ち」「育て」を考える研究会	国立武蔵野学院（さいたま市）	福田雅

3/10~12	第5回 FLEC フォーラム	早稲田大学国際会議場井深ホール (新宿区)	福田雅
3/11.12	社会福祉士実習指導者講習会	オンライン	片桐
3/11.12	アサーティブとコーチングのハイレベル研修	オンライン	定方

### 栃養協研修事業

	日時	研修内容	場所	参加者
新任職員研修	5/6	・社会的養護の基本的な理解と養育者としての心構え 講師：福田 雅章 氏 ・措置制度及び児童養護施設の現状と課題について 講師：田中 浩之 氏	県庁研修館講堂	・手塚・石井・相田・ 矢代・渡邊・永山
	7/14	・社会的養護の歴史と現状 講師：福田 雅章 氏 ・社会人としてのマナーとチームワークに貢献する仕事の 進め方 講師：(株)ワークエントリー 田代 知美 氏	とちぎ青少年センター	・手塚・石井・相田・ 矢代・渡邊・永山
	9/8	・乳幼児期・児童期・思春期・青年期の発達 ～子どもとの関わり方～ 講師：杉原 聡子氏	オンライン	・手塚・石井・相田・ 矢代・渡邊・永山
	11/10	・トラウマを抱える児童に対する支援について 講師：中山 和幸 氏 ・施設と学校の連携について 講師：土屋 佳子 氏	オンライン	・手塚・石井・相田・ 矢代・渡邊・永山
若手職員研修	6/9	・社会的養護内容 3・4 アドミッションケア・インケア 講師：福田 雅章 氏 ・障害者福祉の仕組みと事例検討 講師：若倉 健 氏	とちぎ青少年センター	・古川・安齋・金子・ 鈴木(紀)
	8/24	・ペアレントトレーニングを活用した支援に について(基礎コース1日目) 講師：杉原 聡子 氏	オンライン	・古川・安齋・金子・ 鈴木(紀)
	10/11	・ペアレントトレーニングを活用した支援に について(基礎コース2日目) 講師：杉原 聡子 氏	オンライン	・古川・安齋・金子・ 鈴木(紀)
	11/24	・発達臨床心理学 ～発達支援及び問題行動の理解と援助のために～ 講師：秋場 博 氏	オンライン	・古川・安齋・金子・ 鈴木(紀)

中堅職員研修	6/23	・社会的養護内容 リービングケア・アフターケア 講師：福田 雅章 氏 ・リーダーシップと組織のマネジメントについて 講師：田代 知美 氏	とちぎ青少年センター	・佐藤（晴）・松本・福田（寿）
	8/4	・新任職員を支えるための指導・教育（スーパーバイズ）の方法 講師：田中 浩之 氏 ・子ども間の暴力防止について～スーパービジョンの観点も 交えて 講師：藤岡 孝志 氏	とちぎ青少年センター	・佐藤（晴）・松本・福田（寿）
上級職員研修	7/21	・今日の課題と将来像について 講師：福田 雅章 氏 ・施設の管理運営とマネジメントについて 講師：田中 浩之 氏	とちぎ青少年センター	・薄井・金澤・万年
	10/21	・関係機関連携について 講師：直井 茂 氏 ・社会的養護における人材育成 講師：坪井 真 氏	オンライン	・薄井・金澤・万年
基幹的職員研修	7/21	・今日の課題と将来像について 講師：福田 雅章 氏 ・施設の管理運営とマネジメントについて 講師：田中 浩之 氏	とちぎ青少年センター	・饗庭
	10/21	・関係機関連携について 講師：直井 茂 氏 ・社会的養護における人材育成 講師：坪井 真 氏	オンライン	・饗庭
	12/8	・児童自立支援計画の策定について 講師：田中 浩之 氏 ・一人ひとりの子どもを大切にする施設づくり 講師：河尻 恵 氏	とちぎ青少年センター	・饗庭
	1/20	・家族支援や里親支援、ソーシャルワークに関すること 講師：岩井 幸祐 氏 ・～つながる～「共有と共感から生まれるチームマネジメント」 講師：野崎 千晶 氏	とちぎ青少年センター	・饗庭
	11/16	第10回被措置児童虐待防止研修 ・社会的養護における高度な専門性を執拗とする知識や援助技術に関すること 講師：山田 勝美 氏	オンライン	・手塚・石井・相田・矢代・渡邊・小林（侑）

	11/21	第1回被措置児童等自殺防止研修 ・「青年期の命を守る」～ゲートキーパーになるために 講師：小久保 麻紀 氏	オンライン	任意
	1/21	第2回子どもの命を守る研修会 ・「青年期の命を守る」～自死防止及び遺された人への心のケアについて 講師：鈴木 康明 氏	オンライン	任意
施設長	5/12	・第1回施設長会議	とちぎ青少年センター	福田/加藤(準)/片桐
	8/22	・第2回施設長会議	とちぎ青少年センター	福田/加藤(準)/片桐
	11/8	・臨時施設長会議	県庁	福田/加藤(準)/片桐
	12/19	・第3回施設長会議	県庁	福田/片桐
	3/13	・第4回施設長会議	県庁	福田/加藤(準)/片桐

(別紙)

## 令和4年度各委員会報告

### 『給食委員会』

実施月 記録	食育（テーブルマナー、食育便り、クッキング、炊き出し、行事食）嗜好調査	畑の活用
内容（提供元）		
4月 窪田	行事食→入学祝	・畑活用について話し合い
3月献立、その他について 活動計画（炊事）	・炊き出し4/5実施 ・委員会実施4/5 翌月だよりにて公表した ・お炊事手作りおやつ・・・ドーナッツ	・除草 ・耕作・肥料（4/13・30）
5月 船山	行事食→柏餅	・畝たて、マルチ張り（5/23）
4月献立、その他について ・こどもの日（なのはな）	・委員会実施5/12 翌月だよりにて公表した	・苗の手配（5/6べにはるか 納品） ・苗植え（各ユニット） 他・・・かぼちゃ・ポップコーン
6月 金子	行事食→いわし（旬の食材）	・苗うえ（6/7から1の間で週間ユニット毎に行った）
5月献立、その他について ・衛生管理について（炊事場）	・委員会実施無し 各自5月の反省や意見等を6/15に提出 翌月だよりにて公表した	・きゅうり・小玉スイカ・ピーマン肥料まきと 手入れ・追肥
7月 饗庭	行事食→そうめん、ゼリー、たこ、ウナギ	・除草（各自） ・川の土手草刈り（片桐）
6月献立、その他について ・七夕（のざわ）	委員会実施7/12 翌月だよりにて公表した	・きゅうり、ピーマン収穫
8月 石井 窪田	行事食→かまのふたまんじゅう	・除草（各自） ・きゅうり、ピーマン収穫
7月献立、その他について ・夏休みクツ	・委員会実施無し 各自8月反省や意見等を8/15に提出 翌月だよりにて公表した	・スイカ収穫・ポップコーン用トウモロコシ収穫

キング (炊事場)	・夏休みクッキング コロナ状況を鑑みて実施 本園・野沢H実施できた	
9月 福田 美幸	・行事食→おはぎ ・お炊事手作りおやつ・・・リンゴの ケーキ	・かぼちゃ収穫 ・さつまいもツル返し・収穫（各ユニ ット）
8月献立、そ の他について ・お月見 (野辺山)	・委員会実施無し 各自9月反省や意 見等を9/15に提出 翌月だよりにて公表した	・片付け・草刈り ・苦土石灰、肥料
実施月 記録 内容（提供 元）	食育（テーブルマナー、食育便り、ク ッキング、炊き出し、行事食）嗜好調 査	畑の活用
10月 佐藤	行事食→だんご、かぼちゃ料理	・畑片付け、各ユニット
9月献立、そ の他について ・畑の収穫 (あすなろ)	・委員会実施10/14 翌月だよりにて公表した	
11月 福田 寿美子	行事食→七五三、創立記念日	・耕作 ・11/22畑土手の草むしり
10月献立、 その他につい て ・七五三 (オアシス)	・委員会実施11/15 翌月だよりにて公表した  ・お炊事手作りおやつ・・・チーズケ ーキ	
12月 加藤	行事食→かぼちゃ料理、年越しそば	
11月献立、 その他につい て ・風邪予防、 体を温める食 事 (炊事場)	・委員会実施無し 各自10月反省や 意見等を10/15に提出 翌月だよりにて公表した	
1月 人見	行事食→七草がゆ、鏡開き	

1 2月献立、その他について ・おせち (福田寿美子)	・委員会実施無し 各自1 2月反省や意見等を1 2/1 5に提出 翌月だよりにて公表した	
2月 片桐	行事食→しもつかれ、恵方巻、イワシ、赤飯	
1月献立、その他について ・バレンタイン (すずらん)	・委員会実施2/1 5 (今年度の反省や課題を含む) 翌月だよりにて公表した  ・お炊事手作りおやつ・・・チョコレートロールケーキ	
3月 金澤	行事食→ひなまつり、ぼたもち、卒業祝い	
2月献立、その他について ・ひなまつり (炊事場)	・委員会実施無し 各自3月反省や意見等を3/1 5に提出 翌月だよりにて公表した	

- ・畑の活用について・・・4月耕作、5月マルチ張り。畑半分は他の野菜を栽培。(かぼちゃ3種、スイカ、きゅうり、ピーマン、ミニトマト、ナス、ポップコーン)

### 反省

○夏野菜・・・収穫は調理場、各ユニットにて行った。

・今年は、わらシートを活用して行った。数年使いまわしができる点では、わらの処分に困らず良かった。

・どの野菜もたくさんの収穫ができた。

・子どもたちと朝取りの予定で考えていたが、外出しユニットが多いことや、朝外に出ることが困難なユニットが多く、結果としてお炊事にお願いすることになってしまった。

・除草作業、害虫駆除は適宜行った。

○さつまいも・・・マルチ貼り全員で行った。

苗植え、草取りなど各ユニットの委員会の職員が主となり児童たちと行って育てた。

### 次年度の課題

- ・夏野菜については、数か所のユニットで、庭のプランターや花壇を活用して育てていた。上記の反省から、各ユニット毎に子ども達の生活の中に取り入れ、いつもでも触れられることのできる環境の中で野菜を育てることもよいのではないか。
- ・サツマイモの苗の発注について、今年度より早めに動いた方は良い。時期的に天候などで苗植えが遅くなってしまう。
- ・クッキングについては、感染症の基準が下がることから以前行っていたクッキングを復活させたい。
- ・本園周りの整地に伴い、次年度は本園北側にある畑を使用する。
- ・各ユニットの献立について、委員会の中でさらにステップアップした内容会議ができるような工夫はないだろうか。(委員会メンバーに毎月配った献立一覧表のペーパーレス対策も含む)

## 『環境美化委員会』

### 環境美化の目的

日々の生活の中で、子ども達が「自分は大切にされている」という肯定感を育めるような調和のとれた心地良い住環境作り。

### 年間活動

倉庫の整理。花壇の除草。園庭、園周りの除草、清掃。  
年2回の奉仕作業の計画、実施。

### 事業内容・反省

修繕 (豊岡)	定期点検(網戸・レール・戸・非常灯・壁等)を促し、毎月の職員会議にて各ユニット等から修繕箇所を申告してもらい、業者に依頼。
花壇・園庭 ちゅうりっぷの修繕 (滝澤)	花壇の係だったが、ほとんど出来なかった。ちゅうりっぷのまわりの場所だとありがたいです。
衛生の日 (矢代)	ポスターの制作。子ども達への声掛け。ポスターを出せない月があったので、今後、そのようなことがないようにする。
草刈り (栗林・万年)	草刈り定期的に行えて良かった。草刈り班もエリアごとでやるを決めるといいかも。一人で全範囲な時もあり結構大変(栗林)。 本園周辺の草刈り4回。各ユニットの草刈りは各ユニット環境美化が行う。草刈り機故障(2台)し、1台は修理。1台は買い替えとなる。(万年)

生活指導室 (相田)	ワックスがけが出来なかった。
1F 廊下、下足室 (寺地・重田)	ワックスがけ、二人の勤務なかなか合わず、実施できませんでした。下駄箱の整理は出来ました。ワックスがけは来年はやりたいと思います。(重田) 下駄箱掃除は時間と子どもがいないときに3回やりました。ワックスは、子どもたちがいない時間を見つけるのが、困難でした。年に2回は全体でやれたらと思います。(寺地)
オアシスの修繕 (佐藤)	6、7、9月オアシス内草刈り。5、7、9月オアシス内除草剤散布。8、10月オアシス内草むしり。 4、11月オアシス花苗植え。5月野菜苗(トマト、ピーマン、ナス、バジル)植え。12月正月用寄せ植作り。年間通して計画書通り作業することが出来ました。 オアシスの修繕。4月粗大ごみの片付け。搬入や山羊小屋作り。トイレの詰まり対策。
野辺山の修繕 (小林)	草刈りは定期的に来た。部屋の片付け・不用品な物の処分が出来た。カーペットの買え替え、台所の床が傷む為、マットを敷いた。次年度やる事、カーテン洗い。廊下のワックスがけ。ホーローキッチンの戸の修理。
たんぼぼの修繕 (寺澤)	・プランターで野菜を育てた。(ミニトマト、バジル) ・壁紙直し ・不用品処分 ・花、あさがおを植えた。 ・ワックスがけ
すずらんの修繕 (重田)	・ベランダの掃除。不用品処分。ドアレールの修繕。
あすなろの修繕 (栗林)	ワックスがけ。トイレのドアの修繕。 個室ドアの修繕。
野沢ホームの修繕 (相田)	屋根のとよの詰まり直し
なのはなの修繕 (万年)	障子張り替え。ブラインドの撤去。庭、除草作業、除草剤散布行う。庭、花壇、整備、花、野菜などを植える。(しそ、ミニトマト、ナス、きゅうり)不用品の処分。
段ボールの回収 (寺澤)	段ボールが集まったら、えがおの手塚さんに連絡を取り回収に来てもらった。今年度は、7回来てもらった。
ちゅうりっぷの修繕 (滝澤)	トイレトーパーホルダーの設置し直しと、子ども用手すりの設置。 洗面台下収納扉修繕。戸車修繕(おもちゃ部屋、宿直室、個室2部屋、布団部屋)

	キッチンカウンターとテーブルの角に保護クッションの張り付け。
--	--------------------------------

## 事業実施内容

4月	今年度の事業計画・衛生の日・清掃用具の購入・草刈り
5月	衛生の日・3連倉庫の掃除 5/20・除草剤散布①・草刈り・下駄箱清掃
6月	衛生の日・1F男子風呂掃除 6/20
7月	衛生の日・奉仕作業・草刈り・除草剤散布②
8月	衛生の日・階段下倉庫掃除
9月	衛生の日・草刈り 9/16・除草剤散布③・畑の草刈り
10月	衛生の日・布団部屋清掃 10/17・南廊下倉庫清掃 10/18・面接室前倉庫 10/20
11月	衛生の日・カンファレンス室掃除 11/4・正門の花壇、畑の三角コーナーの草取り、花壇の周りの草取り
12月	衛生の日・奉仕作業・自分の担当の場所の清掃
1月	衛生の日・1階男子風呂の清掃 1/23
2月	衛生の日・指導室の清掃 2/27
3月	衛生の日・今年度の反省

### (反省)

- ・今年朝の草取りをやめて、時間があるときに草取りをするようにした。朝、時間を取らなくても、草取りができ、きれいさを保てた。
- ・草刈り、除草剤散布も定期的に出来、きれいさを保てたと思う。
- ・今年度は、4月にモップやほうき、除草剤、じょうろ、草刈り用グローブを購入出来た。
- ・各倉庫の清掃の参加者が、決まってしまう。いつも参加している人と、参加できない人と。みんな公平に集まれるようにしたい。
- ・指導室に不用品を置かなくなったので、きれいなまま保てた。

## 『広報委員会』

### 1 主な活動内容

項目	内容	担当者
----	----	-----

広報誌発行	5月、9月、1月の年3回の発行。氏家養護園、養徳園、記事を分担する。作成後、各種関係機関へ発送する。また、ホールと正門の掲示板にも掲示する。	委員会メンバー
-------	--	---------

全員

(氏家養護園 桑原 )

ホームページ

養徳園日記更新

職員紹介 主に各ユニット職員

写真管理

写真フォルダー管理 委員会メンバー

カレンダー制作 次年度の手作りカレンダー制作の企画・作成 委員会メンバー

5月兜、クリスマスのデコレーション 5月と12月に玄関ホールに飾る 委員会メンバー

スケジュールの記入、掲示物張り出し 月のスケジュールを職員室ホワイトボードに記入。

加藤園長

## 2 活動記録

第一回 (R 4.4.14) 法人内顔合せ後、氏家養護園と合同

### ① メンバー自己紹介

氏家養護園メンバー：桑原・松崎・福田

養徳園メンバー：薄井・金澤・郡司・古川・白鳥・田代・定方・鈴木

### ② 広報誌作成から発送までの確認

### ③ 広報誌企画書 (74号~76号)

今年度はすべての記事を共有 (同じ) にする。

- ・養護園の表記は全て「氏家養護園」とする。
- ・表紙のあいさつ文については、(4月福田総合施設長9月大谷園長1月加藤園長にすることに決まる)
- ・原稿の背景は今年度も養徳園で担当する。ただしユニット紹介のページはそれぞれの施設で担当する。
- ・ドロップボックスは設定は今年度は本園職員室、氏家養護園の2カ所にする。
- ・春号には寄付の用紙を入れるので、あいさつ文にその旨一言入れること。

## ●各号作業分担

<74号>

ユニット紹介ページ：白鳥、新任職員挨拶：鈴木、表紙、大谷園長インタビュー：定方、成人式、ボランティア：古川、新入生の抱負：鈴木 入所状況、寄付一覧、年間行事：薄井、

<作業反省>

- ・GWを挟んでの作業だったが、法人内顔合わせで打ち合わせできたことで早い段階から作業を進めることができて良かった。共通ページの作成には情報の確認が必要であることを実感したの

で、余裕を持った作業時間の設定が大事だと思った。

- ・本体でコロナ感染があり、職員室の出入りができない状況で原稿集めがギリギリになった。もっと早く気が付けばよかった。
- ・氏家養護園との連携、卒園生との連絡窓口の確認不足。
- ・紙面のデザインが凝っていて可愛い反面、インクの使用量が大丈夫か心配。(以前施設長よりインクについて指摘があったため)
- ・発送作業を委員会職員にも手伝っていただきスムーズに行えた。
- ・新任職員あいさつの記事で南小学童の代替職員(非常勤職員)は含まないなど「掲載する新任職員」の定義が曖昧で難しかった。掲載基準等を決めた方が良かったと思います。併せて年度途中に採用になった職員はどうするのか(年に一度の掲載のため)検討事項が多々あるように思いました。
- ・ページによって使用する文字違う、養徳園と氏家養護園で共通の記事で文字数がかなり違う、統一した方が良いのでは？

## 第二回 (R4.5.16)

- 広報誌 74 号の発送作業 (研修室にて)

## 第三回 (R4.6 月)

- コロナ感染予防の為、全員での委員会を行わず各自、養徳園日記アップ

## 第四回 (R4.7.月)

- 写真データのバックアップ作業
- コロナ感染予防の為、全員での委員会を行わず各自、養徳園日記アップ

## 第五回 (R4.8 月)

- 各号作業分担

<75 号>

ユニット紹介ページ：金澤、表紙：定方、ボランティア、招待事業：薄井、  
入所状況、寄付一覧：鈴木、

- 写真データのバックアップ作業

## 第六回 (R4.9.15)

- 広報誌 75 号の発送作業

## 第七回 (R4.11.15)

### ① 広報誌 76 号の原稿デザインなどの検討

- ・ 養徳園で行った創立記念式典、里親交流会「喜連川ウォークラリー」を各 1 ページずつ掲載する。
- ・ ボランティアページに成人式も入れる。\*ユースアフターに前撮りなどでお世話になっている)
- ・ ユニット紹介記事のテーマは「〇〇の秋」200 字くらいで各ユニットにお願いする
- ・ コロナ感染予防の影響から南っ子食堂の活動休止。地域連携活動の報告として「とちぎ「こども宅食」緊急支援プロジェクト」の記事を掲載する。

〈レイアウト分担〉

ユニット紹介：郡司、七五三お参り：古川、里親イベント記事：金澤、創立記念式典：薄井、入所状況、寄付一覧：鈴木、表紙、加藤園長インタビュー：定方

### ② カレンダー制作の確認

- ・ 今年度も 1 月は職員の格言カレンダーにする。デザイン担当は田代さんと定方さんとする。昨年を引き続き、シンプルに令和 5 年 1 月～12 月を作る

〈分担〉

1 月	広報委員会 (田代、定方)	2 月	野辺山の家	3 月	すずらん
4 月	福田 H	5 月	なのはな	6 月	保育園
7 月	あすなろ	8 月	たんぽぽ	9 月	のざわホーム
10 月	オアシス	11 月	ちゅうりっぷ	12 月	お炊事と間接職員

## 第八回 (R3.12 月)

- 各自広報誌 76 号の分担された原稿作成と校正作業

## 第九回 (R4.1.18)

- 広報誌 76 号の発送作業

## 第十回 (R4.2.28)

- 年度末反省会

<反省>

### ① 広報誌オアシス

インクの使用量が心配。

作業分担して行ったのでやりやすかった。

全員がどのページも作業出来る様ローテーションした方が良いのか？

修正作業 (校了) まで同じ人が行った方が良いのか？

データの取り扱い方、気をつける。元のデータに戻っていたことがあった。

新しい動きや活動（児家セン）を紹介するページの検討、施設と地域のつながりの活動実績を知らせる事が出来る。

経費削減としてラスクルの利用検討。

振り分けていない作業について協力できる人が積極的に声をかけてくれたので助かった。

#### ②カレンダー製作

どのユニットが作ったか分かるようにユニット名の掲示があった方が良い。

途中入所児の誕生日を追加する。（一時保護児の扱いは？）

掲示の終わったカレンダーの取り扱いについて→作成ユニットに返す。

貼り替え担当が1日勤務でない時→声掛け合い協力する。

#### ③養徳園日記

鈴木さんが定期的に更新してくれて助かる。

携帯電話で更新できるので作業しやすい。

児家センのブログ始まり紹介のチラシ作った

職員のつぶやき、思い写真無しでも良いので委員会以外の人にも協力を求める。

#### ④その他

コロナ感染で外出しユニットの職員が本園に出入りが出来ない時期があったが、グループ LINE を活用し連携を取り作業を分担して行ったので大きな影響がなかった。

広報委員会としての出来る新たな活動内容を検討していきたい。

#### ⑤氏家養護園より

養護園として前任者からの引き継ぎをしっかりとする必要があったかなと思っています。そうすれば、もっと作業がスムーズに進んだかなと思っています。

皆さんのおかげで、わかりやすく、親しみのある広報誌作りが出来たかなと思います。

連絡がすぐ返せなかったり、お願いすることばかりになってしまいありがとうございました。

<次年度へ申し送り>

- ・第三者評価を受けて、苦情箱投函数を広報誌オアシスに掲載する。
  - ・ボランティア、招待事業について養徳園日記にアップすることを活動に追加する。
- 受け入れ係と連携する。

## 『安全管理委員会』

### 1. 防災

- ・避難訓練：年間防災訓練計画を立て、毎月各所出火想定に基づき避難訓練を実施。その際、

防火・防災意識を高めるよう講話を行い、児童・職員への意識づけを行った。皆おおむね緊張感をもって取り組むことができた。反省として、訓練の各月の担当について、職員会議において担当ユニット・個人名でお願いして準備を事前にできるようにするとさらにスムーズに進行できたと思われる。

- ・各ユニットの非常備品について、チェックリストがあるとよい。また皆で集まったの点検の場面があるとよい。(ユニット任せになってしまった)

- ・非常時の食品について、使用期限の近いものがあるので見落とさないように確認できた。さらにチェック体制を強化する。

- ・防災用具の点検必要 発動機の点検(しばらく動かしていないため)について一度防災訓練時に始動チェックを行い皆に周知した。

- ・各備品倉庫の点検 清掃をしながら、確認・点検を行った。

- ・緊急連絡網の方法を再検討して、早く正確に伝えられるように考えた。

具体的には、LINE を利用して「緊」というグループをつくり職員全員の緊急連絡とした。反省として、電話連絡網を作る必要性があったができずにいたこと。

## 2. リスクマネジメント (事故防止対策の推進)

- ・ヒヤリハットファイルの使用して報告いただいた。それがどんな内容が出てきたのか集計して職員に開示するようにする。

- ・天災・人災等有事の際、安全委員会内でも緊急に動けるように体制を確認しておくことが必要だった。

## 3. 自転車

- ・管理ファイルの作成が不十分であり、各ユニットでも対応してもらうようにする。

- ・点検・修理が不十分。(まめにチェックできるとよい)

ボランティアさんの活用が必要。ボランティアの方を募ったらどうか。

- ・古いもの、乗れないものを処分すること。

- ・通学用自転車の安全のための定期的に点検が必要と思われる。

## 4. 公用車

- ・各車の点検を1ヶ月毎に行ったため安全点検がスムーズに出来た。

- ・洗車不十分。特に車内清掃ができていなかった。

- ・使用した人のマナー向上の喚起。特に乗車後のゴミのチェックが大切。

- ・各車にドライブレコーダーを設置してはどうか。

- ・各車の扱い方について、接触等の小さな事故でも必ず報告してもらうよう徹底する。

## 5. 遊具

- ・定期的にできていた。
- ・情報の共有不足あり。職員会議・朝と午後の打ち合わせ時に情報を提供して危険箇所等をお知らせする（共有）。
- ・園庭とのざわホームを分けるフェンスの支えポールが機能していない。
- ・玄関前：フェンスを張って道路に行けないように設置。→効果あり

## 6. 不審者対策

- ・AED 講習時に護身術の講習を受け、暴力などの危機的場面を想定しての訓練を受けた。
- ・警察に立ち会ってもらい、アドバイス・指摘等いただく方法も良い。

\* 日常的に委員会メンバーで情報交換をして、園全体の安全・安心について意識を持って役割を果たしていくことが大切。

そのためにコミュニケーションをしっかりとって業務にあたっていくようにする。

## 『運営改善委員会』

○第三者評価の受審

9/1 第三者評価職員説明会、調査票の配布

10月下旬 自己評価、職員アンケート、子どもアンケートの実施、送付

11/13 各種調査（評価調査官訪問）

12/12 訪問調査（ヒアリング）

1/27 評価結果報告書説明会

総評として

○特に評価の高い点

- ・学習環境の整備と進路の自己決定に向けた手厚い支援
- ・標準的实施方法の充実及び見直しの仕組み
- ・経営環境の変化に伴う適切な対応

○改善を求められる点

- ・課題の明確化及び計画的な改善の実施
- ・子どもの満足の向上を目的とした仕組みの整備
- ・職員の就業状況・意向の把握、働きやすい職場作り

第三者評価が義務化されて4回目、また施設長が変わって初めての受審となった。  
施設の取り組みについて、コロナ禍の中でありながら細かいところまで見ていただいた。

施設運営について評価をいただいた点についてはより一層の充実を図るとともに、改善の指摘をいただいた点については今後の課題が明確になった。  
真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいきたい。

## 令和4年度 地域小規模児童養護施設事業報告

### 『オアシスの家』

平成19年11月1日(土)開所

子どものメンバー

・職員 4名

小学1年女児	1名	人見(女) 保育士	
中学1年男児	1名		平野(男) 保育士
高校1年男児	2名		古川(女) 指導員
高校1年女児	1名		佐藤(女) 非常勤
高校3年男児	1名		

令和4年4月1日より6名

令和5年3月27日 高校3年男児卒園

令和4年3月28日 小学1年女児里親委託

#### ○通学状況

喜連川小学校(徒歩)

喜連川中学校(自転車)

烏山高校(自転車・電車)

作新学院(自転車・バス)

石橋高校(バス・電車)

さくら清修高等学校(バイク)

#### ○行事報告

R4/8/8~9 キャンプ(銀山平キャンプ場 日光市)

R5/3/11 スノーボード(たかつえスキー場)

#### ○定期通院状況

(高3男子)腕の腫れがあり自治医大通院。医師より今の所は問題がないので経過観察となり3カ月に一回の通院。

#### ○生活状況

新年度、小学校入学1名、中学校入学1名、高校入学が3名と慌ただしい新学期だったメンバーが変わらず落ち着いており、進学もスムーズに入れた。

少しのケンカやトラブルはありながらもお互いに謝ることができ、オアシスでの生活にも各自慣

れてのんびりと生活する。

#### ○今後の課題

令和5年度は子どもも2名変わり、職員も2名変わることから雰囲気はかなり変わると予想される。その中でも今までのオアシスでの良さを変えず、新生活が良いスタートをきれるようにしていきたい。また時間もバラバラになるのでみんなが合う時間を大切にしていきたいと思う。一人一人が安心して生活できる環境を整えていきたい。

### 『野辺山の家』

平成22年4月1日（木）開所

子どものメンバー

小学3年男児	1名
小学5年男児	1名
中学1年男児	1名
17歳 男児	1名
高校3年男児	1名

・職員 4名

菅原（女）	保育士
金澤（男）	指導員
白鳥（女）	指導員
小林（女）	非常勤

令和4年4月1日より5名

令和5年3月31日 高校3年男児卒園

#### ○通学状況

喜連川小学校（徒歩）

- ・喜連川中学校（自転車）
- ・宇都宮青葉高等学園（自転車・バス・電車）

#### ○行事報告

R4.5/3 GW BBQ（家の庭で行う）

R4.8/19 日帰り鬼怒川旅行

R4.10/8 焼肉外食

R5.2/19 お楽しみ BBQ（家の庭で行う）

- ・季節の行事は子どもたちと一緒に室内を装飾し行事に合わせたメニューを調理し由来を伝えながらお祝いをした。
- ・今年はコロナ渦ではあったが、感染予防に気を付けながら夏休みに日帰りでユニット旅行に行った。
- ・庭でBBQをして楽しい時間を過ごした。

- ・誕生会はみんなで誕生者のお祝いし、誕生外食で担当 CW と 1 対 1 の時間を大切にした。
- ・今年は昨年度と同様にコロナの影響で外食など子どもたちの要望に応えることが難しかった分、テイクアウトなどで工夫した。

#### ○定期通院状況

- ・高校 3 年 男児 黒須病院内科
- ・小学 6 年生 男児 とちぎりハビリテーションセンター
- ・高校 1 年男児 西真岡アクセプトインターナショナルクリニック 月 2 回通院。

#### ○生活状況

- ・プライベート空間や境界線など、子どもと話しながら自分の時間を過ごすようにした。
- ・近場や家など全員で共有できる時間を持つことで、自分の気持ちを言葉にできるようになってきていると思う。

#### ○今後の課題

- ・子どもの言動や変化に気を配り一人ひとりが落ち着いて生活できる環境。共同生活において個々の思いや考え将来をイメージし話せる雰囲気作りに心がける。メンバーの入れ替えなどにより再度全体的な見直しや改善は必要。
- ・地域との交流がコロナ禍により無い状況ではあるが、子ども同士の交流やイベントの参加など感染対策をしながら積極的に行っていく。

## 令和4年度 児童家庭支援センターちゅうりっぷ活動報告

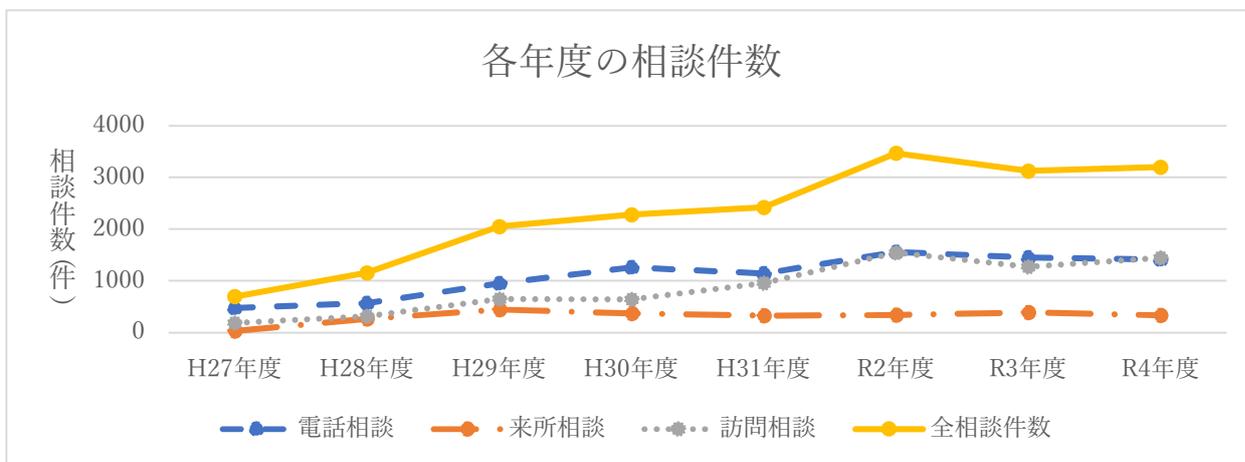
児童家庭支援センターちゅうりっぷ

### 【相談件数、一時預かり件数等について】

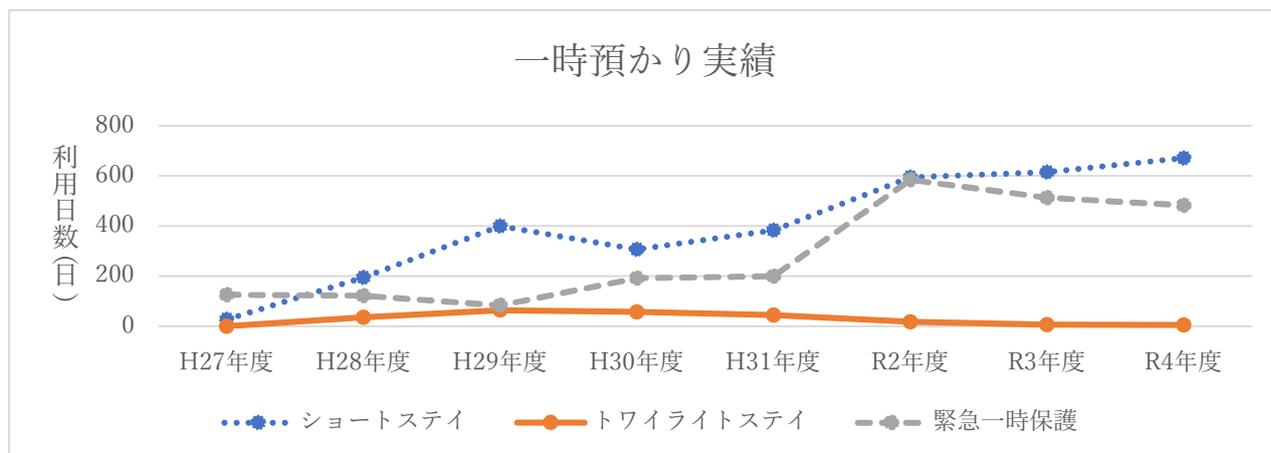
○令和4年度は昨年度と比べ、訪問相談が1446件で113%伸び、全相談件数3198件も昨年度の102%（同、3122件）と微増している。電話相談は1416件で昨年度の98%（同、1454件）、来所相談は333件で86%（同、389件）である。

○ショートステイと緊急一時保護委託の件数について、利用延べ日数は昨年と同程度だが、利用人数が減り、一人あたりの利用日数が増えている。一時預かりの申し込み状況について、ショートステイの事前予約日となる月始めは、予約できるすべての日が半日で埋まってしまう。他日ではキャンセル待ちになるか、申込できない状況であった。市町からの申し込みを前提にしており、毎月利用するショートステイの子どもが多く、新規ケースや緊急のケース（ショートステイ、緊急一時保護も同様）に対応しきれない状況となっている。

○緊急一時保護委託は長期にあずかる子が増えている。（一時保護6か月のケース。）長期で預かる子どもの含め、保育園、学校等に、朝夕の送迎をするケースが多く、現場職員による情報交換を密に行うことができた。



### 一時預かり実績



	R2 年度	R3 年度	R4 年度
ショートステイ	222 件 594 日 (実数 50 人)	217 件 615 日 (実数 44 人)	233 件 671 日 (実数 32 人)
トワイライトステイ	17 件 17 日 (実数 6 人)	6 件 6 日 (実数 5 人)	4 件 4 日 (実数 2 人)
緊急一時保護委託	16 件 584 日 (実数 13 人)	18 件 513 日 (実数 18 人)	16 件 482 日 (実数 14 人)
入所	2 件 36 日 (実数 2 人)	3 件 36 日 (実数 2 人)	0 件 0 日 (実数 0 人)
里親レスパイト	1 件 3 日 (実数 1 人)	—	2 件 17 日 (実数 1 人)
子育て短期支援事業契約市町	ショート 7 市 8 町 (新規・茂木町) トワイライト 2 市 3 町 (新規・茂木町)	ショート 8 市 8 町 (新規・鹿沼市) トワイライト 2 市 3 町	ショート 9 市 8 町 (新規・那須烏山市) トワイライト 2 市 4 町 (新規・高根沢町)
さくら市援助方針会議への出席	—	19 回	19 回
要対協への参加	7 市町	7 市町	7 市町
個別ケース検討会議への参加	16 回	30 回	20 回
指導委託	744 件 (実数 6 人)	599 件 (実数 7 人)	648 件 (実数 8 人)
電話相談	169 ケース 1560 件	163 ケース 1454 件	181 ケース 1416 件
来所相談	341 件	389 件	333 件
訪問相談	1548 件	1276 件	1446 件
全相談件数	3470 件	3122 件	3198 件

※子育て短期支援事業、緊急一時保護委託、入所、里親レスパイトによる実稼働日数

R3 年度 363 日 (99.5%) → R4 年度 343 日 (94.0%)

## 【指導委託について】

- R4年度、のべ8名の指導委託を受ける。(中央児相4名、県北児相4名)1月末で515件の相談。月1~2回の保護者への家庭訪問、保育園・幼稚園、学校等の訪問、本児への面接を継続する。システム理論、サインズオブセーフティアプローチを利用し、保護者と支援の方向性を確認する。市町主催の要対協個別ケース検討会議を定期的に行い、いただき、情報共有と支援の方向性を検討する。
- 施設入所までは至らない、または施設退所後の在宅ケースであり、保護者自身の変容や、家庭環境・親子関係の改善が短期間で見込めない家庭に対し、きめ細やかな対応(必要なら家庭訪問、関係機関の情報共有など)を行う。子育てに関する困り感(または無関心)に対して、保護者の頑張りを応援しながら関係性を作りつつ、具体的な子どもへのかかわり方を提案する。終結は親子の関係改善、子どもの課題が解決するなど、既存のまたは新たに加わった社会資源が本家庭をサポートし、保護者の困り感がなくなるのが目標である。

## 【虐待予防活動、地域支援について】

- MYTREEペアレンツ・プログラム(R4年8月~R5年3月)を行う。(宇都宮市3名、横浜市1名、千葉市1名。計5名参加)参加者の感想として、「子どもが話を聞いてきて「うるせいな。」と思って言い返していただけだったが、今は我慢してでも話を聞くようになった。」「(父の)実家に行ったとき、父の親(祖父母)も厳しいのだが、子ども(孫)たちが言い争いになった。父は一人っ子だったので、祖父母もどうしていいかわからないようだった。父が子どもたちの言い分を聞いて、やりとりしているのを祖父母が見て、びっくりしていた。」「ちょうど1年前は、子どもとの関係は最悪だった。暴力を振るっていたから自分(父)に子どもは何も話さなかった。今、その子はわがままを言うようになった。今まで(わがままは)なかったから、もう少しわがままを言わせてもいいかなと思う。」「母(父方祖母)との関係がよくなった。会社の人に『人が変わった』と言われ、MYTREEで習った呼吸法を続けている。会社でマインドフルネスの集まりを作った。」など。主催者の一人として、参加された父親は、セルフケアと問題解決の方法を得て、自分を癒し、冷静になる方法を手に入れることで、自分や子ども、夫との関係を見つめ直していたように思われる。
- 弁当配食プログラム(R4年7月~12月)は、日本財団様より助成金をいただき、宇都宮市、那珂川町の各児童福祉担当課が把握するヤングケアラー、ネグレクト家庭4世帯に世帯全員の弁当を配達した。配達員である民生委員やボランティアが玄関で弁当を渡す中で、関係性を築き、困りごとや支援のきっかけになる活動を行う。市町への情報提供や虐待予防に資する活動につながればと考えている。

- 同じく日本財団様からの協力を得て、ヤングケアラー支援研究事業（正式名称「児家センによるヤングケアラー支援の実施および検証事業」）に参加した。主催は全国児童家庭支援センター協議会で月1回の事例検討を行った。R4年度は10回オンライン開催され、当センターは3回事例を報告し、R4年12月Jaspcan ふうおか大会公募シンポジウムで発表の機会を得た。
- さくら市子育て短期支援事業里親研修相談等業務委託契約を行い、さくら市におけるショートステイ里親の取り組みを推進している。
- さくら市援助方針会議に19回出席し、児童相談所OBの助言を受けながら、ケースのアセスメント、支援の方向性を検討している。

## 【来年度（令和5年度）に向けて】

- 保護者と子どもが安心して生活できるよう、訪問（アウトリーチ）を重ねて信頼関係を作りつつ、当事者が自らの力で問題を解決する道筋を立てるソーシャルワークを中心にした支援を行う。
- ちゅうりっぷ（養徳園）が子どもの心地よい居場所となり、保護者のレスパイトとなると同時に、保護者のより良き理解者となる支援を目指す。
- 里親ショートステイのような子どもの一時的に預ける社会資源を増やすため、ちゅうりっぷが里親と行政の間をつなぐ支援をする。具体的にショートステイ里親の制度づくり、相談など。
- MYTREE 父親プログラムを R5 年秋よりとちぎ男女共同参画センター（パーティ）で行う。  
※MYTREE 父親プログラムは R3 年秋に大阪で初めて行われた。R4 年は大阪と栃木で開催した。
- 「気持ちワークショップ」を行う。『気持ちの本』（森田ゆり著、童話館出版）をもとに、気持ちを率直に言葉で表わし、また人の気持ちを共感して聞く方法をグループワークで行う。
- アンガーマネジメントキッズプログラム講座を行う。怒りと上手に付き合い、適切に表現する方法をワークショップで学ぶ。
- MYTREE ジュニアプログラム（さくらプログラム、くすのきプログラム）を行う。第三波行動療法をベースにした、子どもの暴力被害、性加害の回復プログラムである。一対一でワークブックを使って進める。
- R5 年度さくら市見守り強化事業を行うにあたり、さくら市と新たに業務契約を結ぶ予定である。さくら市内のネグレクト、ヤングケアラー家庭等に相談支援と、必要に応じて弁当配達、学習支援、遊びの提供、家事支援といった直接的な支援をセットに考えている。協力団体に主任児童委員、民生児童委員ほか、さくら市地域共生センター（SAKUTOMO）のような障害児者団体も含まれる。

○自宅以外で、地域の中に安心して過ごせる子どもの居場所を作る支援（さくら市南小学  
童保育センターでの子ども食堂など）やヤングケアラー、生活困窮世帯へ食事を届けな  
がら支援を組み立てる支援を検討する。

様式1

児童虐待緊急ダイヤル受信実績(令和4年度累計)

こども政策課

\*【時間帯別受信件数】

(単位:件)

管轄児相	無言・いたづら・間違い等					虐待通告以外の相談					関係機関からの事務連絡					虐待通告					その他					計
	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	
17:15~18:00				12	12	7	4	2		13	1	1	2		4	5	7	6		18					47	
18:00~19:00				12	12	7	10	5	1	23	6				6	8	14	6		28					69	
19:00~20:00				15	15	11	13	7		31	5	4	1		10	14	3	4		21					77	
20:00~21:00				10	10	14	9	12	2	37	4	4	2		10	10	8	7		25					82	
21:00~22:00				5	5	8	12	8	2	30	1	6			7	8	8	6		22					64	
22:00~23:00				11	11	2	13	5	1	21	2	1	1		4	10	6	4	1	21					57	
23:00~24:00				3	3	6	7	4		17	2	3			5	3	1	1		5					30	
0:00~1:00						4	5	1	1	11	5	5			10	4	1	4		9					30	
1:00~2:00						5	5	3		13	1	1			2	1	2	2		5					20	
2:00~3:00						3	3			6	2		1		3	1	2	1		4					13	
3:00~4:00				2	2	5	1			6					2					2					10	
4:00~5:00				2	2		1	1		2	1				1	1				1					6	
5:00~6:00				1	1	2	1			3	1				1	1	2	1		4					9	
6:00~7:00				5	5	4	2			6															11	
7:00~8:30				21	21	10	4	6		20	2	2	1		5	6	3	3		12					58	
8:30~9:00				3	3	1	6			7					2		1			3					13	
9:00~10:00				6	6	2	3	3		8	2	1	1		4	5	3	1		9					27	
10:00~11:00				12	12	6	5	2		13	1	2	2		5	2	1	3		6					36	
11:00~12:00				7	7	5	7	5	1	18	2	2			4	3	5	1		9					38	
12:00~13:00				3	3	4	7	3		14	1	2	1		4	4	6	1		11					32	
13:00~14:00				3	3	3	7			10	3	1			4	5	4	2		11					28	
14:00~15:00				5	5	3	5	1		9	1	3			4	3		3		6					24	
15:00~16:00				9	9	3	3	3		9	4	1			5	4	2	1		7					30	
16:00~17:15				8	8	6	7	3		16	3		1		4	2	4	2		8					36	
計				155	155	121	140	74	8	343	50	39	13		102	104	82	60	1	247					847	

\*【虐待通告以外の相談の内訳】

(単位:件)

児相	虐待相談	養護相談 (虐待を除)	保健相談	障害相談	非行相談	育成相談	その他の 相談	計
中央		44			2	21	54	121
県南	1	44			3	38	54	140
県北		25	2	1	1	15	30	74
不明							8	8
計	1	113	2	1	6	74	146	343

\*【虐待通告経路の内訳】

(単位:件)

児相	家族	親戚	近隣	児童 本人	福祉 事務	児童 委員	保健所	医療 機関	児童福 祉施設 等	警察 等	学校 等	その 他	計
中央	20	2	53	6				1		11		11	104
県南	22	2	26	6			1	1	1	6	2	15	82
県北	10	1	21	9			1	1	2	6	3	6	60
不明	1												1
計	53	5	100	21			2	3	3	23	5	32	247

\*【関係機関事務連絡における内訳】

(単位:件)

児相	福祉 事務	児童 委員	保健所	医療 機関	児童福 祉施設 等	警察 等	学校 等	その 他	計
中央		1		8	6	33	1	1	50
県南				3	25	8	1	2	39
県北		1			7	4		1	13
不明									
計		2		11	38	45	2	4	102

様式1

児童虐待緊急ダイヤル受信実績(令和4年度累計) 夜間・休日別

こども政策課

1 夜間における受信状況

(1) 時間帯別受信件数

(単位:件)

管轄児相	無言・いたずら					虐待通告以外の相談					関係機関からの事務連絡					虐待通告					その他					計
	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	
17:15~18:00				12	12	7	4	2		13	1	1	2		4	5	7	6		18					47	
18:00~19:00				12	12	7	10	5	1	23	6				6	8	14	6		28					69	
19:00~20:00				15	15	11	13	7		31	5	4	1		10	14	3	4		21					77	
20:00~21:00				10	10	14	9	12	2	37	4	4	2		10	10	8	7		25					82	
21:00~22:00				5	5	8	12	8	2	30	1	6			7	8	8	6		22					64	
22:00~23:00				11	11	2	13	5	1	21	2	1	1		4	10	6	4	1	21					57	
23:00~24:00				3	3	6	7	4		17	2	3			5	3	1	1		5					30	
0:00~1:00						4	5	1	1	11	5	5			10	4	1	4		9					30	
1:00~2:00						5	5	3		13	1	1			2	1	2	2		5					20	
2:00~3:00						3	3			6	2		1		3	1	2	1		4					13	
3:00~4:00				2	2	5	1			6						2				2					10	
4:00~5:00				2	2		1	1		2	1				1	1				1					6	
5:00~6:00				1	1	2	1			3	1				1	1	2	1		4					9	
6:00~7:00				5	5	4	2			6															11	
7:00~8:30				21	21	10	4	6		20	2	2	1		5	6	3	3		12					58	
計				99	99	88	90	54	7	239	33	27	8		68	74	57	45	1	177					583	

\*【虐待通告以外の相談の内訳】

(単位:件)

児相	虐待相談	養護相談 (虐待を除)	保健相談	障害相談	非行相談	育成相談	その他の 相談	計
中央		31			1	15	41	88
県南		26			3	24	37	90
県北		15	2	1	1	13	22	54
不明							7	7
計		72	2	1	5	52	107	239

\*【虐待通告経路の内訳】

(単位:件)

児相	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設等	警察等	学校等	その他	計
中央	15		39	6					10			4	74
県南	14	1	18	5				1	1	6	1	10	57
県北	7		14	8			1	1	2	5	2	5	45
不明	1												1
計	37	1	71	19			1	2	3	21	3	19	177

\*【関係機関事務連絡における内訳】

(単位:件)

児相	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設等	警察等	学校等	その他	計
中央		1		3	3	24	1	1	33
県南					17	8	1	1	27
県北					3	4		1	8
不明									
計		1		3	23	36	2	3	68

2 休日の昼間における受信状況

(1) 時間帯別受信件数

(単位:件)

	無言・いたずら					虐待通告以外の相談					関係機関からの事務連絡					虐待通告					その他					計
	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	
児童相談所				3	3	1	6			7						2		1		3						13
8:30~9:00				6	6	2	3	3		8	2	1	1		4	5	3	1		9						27
9:00~10:00				12	12	6	5	2		13	1	2	2		5	2	1	3		6						36
10:00~11:00				8	8	5	7	5	1	18	2	2			4	3	5	1		9						39
11:00~12:00				3	3	4	7	3		14	1	2	1		4	4	6	1		11						32
12:00~13:00				3	3	3	7			10	3	1			4	5	4	2		11						28
13:00~14:00				5	5	3	5	1		9	1	3			4	3		3		6						24
14:00~15:00				9	9	3	3	3		9	4	1			5	4	2	1		7						30
15:00~16:00				8	8	6	7	3		16	3		1		4	2	4	2		8						36
16:00~17:15																										
計				57	57	33	50	20	1	104	17	12	5		34	30	25	15		70						265

\*【虐待通告以外の相談の内訳】

(単位:件)

児相	虐待相談	養護相談 (虐待を除く)	保健相談	障害相談	非行相談	育成相談	その他の 相談	計
中央		13			1	6	13	33
県南	1	18				14	17	50
県北		10				2	8	20
不明							1	1
計	1	41			1	22	39	104

\*【虐待通告経路の内訳】

(単位:件)

児相	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設等	警察等	学校等	その他	計
中央	5	2	14					1		1		7	30
県南	8	1	8	1			1				1	5	25
県北	3	1	7	1						1	1	1	15
不明													
計	16	4	29	2			1	1		2	2	13	70

\*【関係機関事務連絡における内訳】

(単位:件)

児相	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設等	警察等	学校等	その他	計
中央				5	3	9			17
県南				3	8			1	12
県北		1			4				5
不明									
計		1		8	15	9		1	34

## 令和4年度事業報告（氏家養護園）

### 1. 運営全般について

コロナ禍に振り回された3年間ではあったが、幸いなことにクラスターには至らず概ね無事に過ごせたことは何よりであった。子どもたちにも外出や面会等の制限をせざるを得ない時期もあったが、だからこそクラスターにならずに過ごせたものと確信している。また入所している子どもたちにも協力してもらっているのだから、当然卒園生にも帰省制限せざるを得ず寂しい思いをさせた面はあると思うが、未知のウイルスとの戦いにおいて決して間違った選択ではなかったはずである。今後5類感染症へと移行するにあたりまた新たな対応の仕方を検討していかなければならない。

子どものケア全般においては大きな事故やケガもなく安全に過ごすことはできたが、真の家庭的養護を目指している中においては、職員一人一人がしっかりと自覚をもってきちんと子どもと向き合いながら関係性の構築に努めなければならぬと再考させられる一年でもあった。

### 2. 児童の動向

#### (1) 学年別在籍数（措置児童）

令和4年4月1日現在（みやこ家・琴平の家を含む）

	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	計
男	1	2	2	5			1	1	2	2		1			17
みやこ家												4	1	1	6
女	3	1		3	1	1	1					1			11
琴平の家		1		1			1		2				1		6
計	4	4	2	9	1	1	3	1	4	2	0	6	2	1	40

令和5年4月1日現在（みやこ家・琴平の家を含む）

	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	計
男	0	0	3	1	6	0	0	1	1	3	2	0	0	0	17
みやこ家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	6
女	1	1	1	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8
琴平の家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	5
計	1	1	4	1	9	1	0	2	1	5	4	0	7	0	36

#### (2) 月別入退所状況

月	性別	初日 在籍数	入所数	退 所 数			その他	月末 在籍数
				家庭復帰	措置変更	就職・自立		
4	男	26						40

	女	14						
5	男	26						40
	女	14						
6	男	26						40
	女	14						
7	男	26						40
	女	14						
8	男	26						40
	女	14						
9	男	26						40
	女	14						
10	男	26						40
	女	14						
11	男	26						40
	女	14						
12	男	26						40
	女	14						
1	男	26		1				38
	女	14		1				
2	男	25						38
	女	13						
3	男	25	1	2		2		33
	女	13	1	2		1		

(3) 委託一時状況

学年・性別	児相	保護の期間及び理由	
未就学・女兒	中央児相	2/21～3/2	本児の安全確保及び養育環境調整
未就学・男児	中央児相	2/21～3/2	本児の安全確保及び養育環境調整
高2・女兒	県北児相	3/24～3/31	養育環境調整
中3・女兒	県北児相	3/30～3/31	養育環境調整

(4) トワイライト及びショートステイ状況

月	年齢・性別	延日数			
4月	12歳・女兒 9歳・男児	7	10月	12歳・女兒 9歳・男児	2
5月	12歳・女兒 9歳・男児	4	11月		
6月	12歳・女兒 9歳・男児	2	12月		
7月	12歳・女兒 9歳・男児	2	1月		

8月			2月		
9月			3月	12歳・女児 9歳・男児 3歳・男児	4
			計		21

### (5) 卒業生の進路

- 幼稚園 → さくら市立南小学校1年 (在園)  
→ 宇都宮市立 小学校1年 (家庭復帰)
- 小学校 → さくら市立氏家中学校1年 (在園)  
→ さくら市立氏家中学校1年 (在園)  
→ 矢板市立矢板中学校1年 (家庭復帰)
- 中学校 → 矢板高校農業経営科1年 (在園)
- 高校生 → 宇都宮ビジネス専門学校  
ゲームクリエイター (プログラマ) コース (自立)  
→ 東京コミュニケーションアート専門学校  
eエンターテイメント科ゲームグラフィック&キャラクター (自立)  
→ 手打ち玄そば・うどん 就職 (自立)

## 3. 養護の状況

### (1) 給食

嗜好調査を行い、子ども達の声聞きながら新しいメニューも取り入れた。

朝食・夕食のグループで作れるものはグループで作り、食べることによって、家庭的な環境で会話を楽しみながら食事が出来、団欒する事が出来る様になった。また余った食材等も次の食事に回したり工夫する事によって残食もかなり減った。子どもたちも卵料理などの簡単な調理は進んで行う様子が多く見られた。今後も食事のマナーなどについて、幼児の時から身につけられるよう支援していきたい。

また今後も引き続き、子ども達が楽しく食事が出来る食卓づくりを目標としていきたい。

### (2) 健康管理

#### ①健康管理

看護師と全職員で子どもたちの体調管理に留意し、医療機関とも連携しながら健康管理を行った。

(のべ通院人数：514人、通院月平均：43人) 年度当初から新型コロナウイルス感染症の流行があり、施設内での発症を防ぐため、マスクや手指消毒の徹底、室内の消毒、面会・外出・外泊の禁止など、様々な感染対策を実施してきた。しかし、今年度は学校からの感染ルートで感染する児童が多く見られた。感染後の対策として、陽性者を別棟で隔離し、濃厚接触者のグループはグループを閉鎖し個室隔離するなど、徹底した感染対策を行い、施設全体への拡大を抑えることができた。今後も子どもたちが、健康で安全に生活できるように、新型コロナウイルス感染症を含む様々な感染症に対し、その疾患の流行の状況に応じた感染症対策を実施していく必要がある。

また、発達的な課題を持った児童の入所も増えてきており、塩谷病院のリハビリテーションセンターに通院し、STやOTを実施している児童も増えている。個々の課題に合わせた学校や生活面での丁寧なサポートが必要とされるため、今後も医療機関や学校と連携しながら支援していく必要がある。

### ②通院状況（のべ通院人数514人）

内科・小児科（中津川クリニック・おのこどもクリニック・済生会病院・  
きぬの里クリニックなど）・・・261人  
 歯科（福澤歯科クリニック・スペシャルニーズセンター）・・・66人  
 皮膚科（檜山医院）・・・23人  
 耳鼻科（中川耳鼻科）・・・22人  
 眼科（早坂眼科・自治医大病院など）・・・48人  
 整形外科（半田クリニック・倉持整形外科）・・・5人  
 泌尿器科（自治医大病院）・・・1人  
 リハビリテーションセンター（塩谷病院・国福大病院）・・・65人  
 小児精神科（国福リハセン）・・・23人

### ③各種予防接種

二種混合ワクチン・・・2人	MR ワクチン・・・4人
インフルエンザワクチン・・・55人	日本脳炎ワクチン・・・5人
新型コロナウイルスワクチン・・・65人	子宮頸がんワクチン・・・1人

## 4. 研修報告

### 年間研修実績

#### 参加者

##### 県養協

新任職員研修 佐藤 諏訪 芳村  
 若手職員研修 丸山 長谷川 齊藤玖 小林  
 中級職員研修 福田 後藤華 片岡  
 上級職員研修 松崎 竹石 齋藤千  
 基幹的職員 永井 館野

##### 県養協部会

施設長 大谷園長 ケアワーカー 後藤紀 片岡  
 FSW 松崎 調理 雫  
 書記 松田 看護師 山形  
 心理 竹村 里親 芳村

#### 外部研修

全国施設長 大谷園長  
 関ブロ研究協議会 大谷園長  
 関ブロ職員 桑原 後藤紀 加藤 菊池 齋藤好  
 こどもの虹児童養護施設指導者研修 松崎  
 全養協中堅職員研修 大谷園長 後藤華 後藤紀 片岡 福田  
 関ブロ事務管理運営者  
 全養協 FSW

その他 被虐待児のケア 性的な問題 発達障害 学習に関する研修 等

令和4年度施設外研修報告

月 日	研修名	内 容	場 所	参加者
5. 6	① 栃養協新任職員研修	社会的養護の基本的な理解と養育者の心構え。措置制度及び児童養護の現状と課題。	栃木県庁研修館	佐藤 諷 訪 撰津 廻谷 芳村
6. 9	① 栃養協若手職員研修	社会的養護のアドミッションケア、インケアについて。障害者福祉の仕組みと辞令検討。	とちぎ青少年センター	小林 長谷川 齊藤玖 丸山
6. 23	① 栃養協中堅職員研修	社会的養護内容リービングケア、アフターケア。リーダーシップ、組織のマネジメント。	とちぎ青少年センター	片岡 福田 後藤華
7. 14	① 自立支援担当職員研修	成人年齢18歳引き下げについて考える。	とちぎ青少年センター	亀山
7. 14	② 栃養協新任職員研修	社会的養護理論 社会的養護の歴史と現状等	とちぎ青少年センター	佐藤 諷訪 廻谷
7. 21	① 栃養協上級職員・基幹的職員合同研修	社会的養護理論と今日の課題と将来像。チームリーダーとしての役割等。	とちぎ青少年センター	齋藤千 舘野 松崎 永井 竹石
8. 4	② 栃養協中堅職員研修	新任職員等への指導・教育（スーパーバイズ）の方式等。子ども間の暴力、子ども間の共感疲労について。	とちぎ青少年センター	後藤華 片岡 福田
8. 8	施設処遇援助事業合同研修会	発達障害、愛着、トラウマと子どもの問題行動への理解と対応。学校との連携。実践報告。	オンライン	長谷川
8. 24	② 栃養協若手職員研修	ペアレントトレーニングを活用した支援について。	オンライン	小林 長谷川 齊藤玖 丸山
9. 8	③ 栃養協新任職員研修	幼児期～青年期の発達。子ども間のかかわり方を考える。	オンライン	佐藤 諷訪
9. 29	こどもの虹 児童養護施設指導者研修	児童養護施設による人材育成事例検討 各施設の現状と課題	オンライン	松崎
10. 5	関東ブロック児童養護施設職員研修会	多様なニーズ応える新しい時代の児童養護施設 各分科会	オンライン	加藤 後藤紀 桑原

10.11	③ 栃養協若手職員研修	ペアトレーニングを活用した支援について	オンライン	小林 長谷川 齊藤玖 丸山
10.20	② 栃養協上級職員・基幹的職員合同	関係機関連携について 社会的養護における人材育成	オンライン	舘野 松崎 齋藤千
11.2	アフターケア関係者研修会及び自立支援担当職員、職業指導員等専門研修会	発達障害をもつ思春期にある子の理解と対応	とちぎ青少年センター	亀山 松崎
11.5	スキルアップ研修会～食事の提供及び栄養管理	児童養護施設での管理栄養士の役割 食を取り巻く状況	オンライン	加藤
11.9 ～11	全国児童養護施設長研究協議会	子供の幸せのため 児童養護施設は何を守ろうとするのか	大分県 J:com ホルトホール	大谷園長
11.10	④ 栃養協新任職員研修	トラウマを超える児童に対する支援について 施設と学校との連携について	オンライン	齊藤玖 諏訪
11.21	被措置児童等の自殺防止研修会	青年期の命を守る ～ゲートキーパー(自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることが出来る人) となるため～	オンライン	全職員対象
11.24	④ 栃養協若手職員研修会	発達支援及び問題行動の理解と援助のために 発達支援及び問題行動の理解と援助のために	オンライン	小林 長谷川 齊藤玖
11.24	被措置児童等虐待防止研修	被措置児童等の権利擁護・虐待根絶のために	オンライン	齊藤玖 諏訪
12.8	③ 栃養協基幹的職員研修	自立支援計画について 一人一人の子どもを大切に作る施設づくりについて	とちぎ青少年センター	舘野
1.19	性的マイノリティ基礎研修	性の多様性を認め合う意識の醸成のため。 福祉や医療の現場で求められる配慮や対応について	ライブ配信	片岡
1.20	④ 栃養協基幹的職員研修	児童養護施設におけるソーシャルワークについて つながる、共有と共感から生まれるチームマネジメント	とちぎ青少年センター	舘野 永井

1. 3 0	施設内性問題対策強化研修	社会的養護の子どもに伝わる性教育	中央児童相談所	山形
2. 7	第2回子どもの命を守る研修会	青年期の命を守る ～自死防止及び遣された人への心のケアについて～	オンライン	全職員対象
2. 9	施設処遇援助事業（中央児相）	学校における心理的支援から考える児童福祉関係の連携	氏家養護園	全職員対象
3. 2 4	第1回子どもの権利擁護の推進に係る検討 W.G.	措置時における意見聴取についての検討会	ニューみくら	舘野

#### 園内研修

5. 1 7 被措置児童虐待を起さない・起さないようにすることをテーマとする。  
全職員対象
7. 1 9 性教育について 職員からの性に関するアンケートの結果をもとに話し合い。  
全職員対象
- 1 2. 3 権利擁護とは、権利侵害をしないというだけではないことを念頭に置き、子どもとのより望ましいかかわりについて考え、より良い関係を結び実践につなげる。  
事例検討 全職員対象

#### 法人研修

4. 2 7 社会福祉施設の運営 新任職員
5. 1 0 6. 3 広い視野を持つための勉強会 新任職員
6. 1 5 アタッチメント 7. 6 トラウマ 新任職員
- 1 2. 1 5 レジェンドとの座談会 新任職員
9. 6 権利擁護と養育の基本 全職員対象
- 1 0. 4 社会的養護のこれから 全職員対象
1. 1 8 中堅・若手が語る児童養護 全職員対象

※栃養協部会の報告は除いています

#### 5. 行事一覧

日時	行事名	行き先及び内容	参加児童
4/9	藤井産業招待 栃木 GB 野球観戦		小学生以上
5/5	お楽しみ会	園内 ゲーム等	全児童・全職員
5/5	ふれあい祭り	コロナの為中止	
5/21	高村麻代アナ招待 女子ソフトボール観戦		小学生以上
7/6	ALSOK 招待・栃木 SC 観戦	コロナの為中止	
7/7	七夕	園内	全児童

8/1	お楽しみ会	園内各グループ	全児童
8/11,12	幼児キャンプ	那須スポーツパーク	幼児～小1
8/7,8	小学生キャンプ	那須スポーツパーク	小2～4年
8/9,10	中学生旅行	那須箱の森プレイパーク	小5～中学
8/23,24	食育（スノーアイス）	園内（食堂）	全児童
9/10	十五夜	園内	全児童
9/23	お楽しみ会	園内 ゲーム等	全児童
10/10	里親交流会	養徳園、喜連川市内	全児童
10/29	ハロウィン	園内	全児童
11/2	明治安田生命招待 お笑いライブ	宇都宮文化センター	小学生以上
11/13	七五三	御嶽神社	幼1名・大2名
11/23	文化祭（作品展）	こども総合科学館	全児童
11/27	社会体験	コロナの為中止	
12/3	食育（ケーキ作り）	園内（食堂）	全児童
12/4	宇大・群馬大もの作りボランティア	園内（食堂）	全児童
12/24	クリスマス会ヒーローショー	園内	全児童・全職員
12/28	餅つき	園内	全児童・全職員
12/28	大掃除	園内	全児童・全職員
1/1	初詣	コロナの為中止	
1/1	DVD 観賞会	園内	在園児童
2/3	節分	園内	全児童
2/18	スキー・スノーボード	たかつえスキー場	小4以上
2/23	お楽しみ会	園内各グループ	全児童
3/3	桃の節句	園内	全児童
3/19	卒業を祝う会	食堂	全児童・全職員
3/27	渡辺けあき様ボーリング招待	第2 トーヨーボウル	全児童
	プール	コロナの為中止	
	B&G リクレーション	鬼怒ゆうゆうパーク	
	高校生旅行	コロナの為中止	
	福祉まつり	コロナの為参加せず	

## 6. 施設の社会科

### (1) 施設実習／県内

国際看護介護保育専門学校

- ①R4年6月27日～7月6日分は養護園内でコロナ感染者が出たため、延期（4名）
- ②R4年10月3日～15日の内10間実施（2名）
- ③①で延期になった分をR4年11月22日～12月1日まで実施の予定だったが、養護園内にてコロナ感染者が出たため、24日で一旦

中止し、R5年1月17日～23日実施

佐野日本大学短期大学

※コロナウイルス流行拡大に伴い、実施せず

白鷗大学

- ①R3年度延期分第一班をR4年9月18日～28日に実施（2名）
- ②R3年度延期分第二班をR4年10月17日～27日に実施（2名）
- ③R5年2月13日～23日実施（2名）

宇都宮共和大学

R4年5月30日～6月9日実施（1名）

足利短期大学

- ①R4年8月17日～8月31日実施予定だったが、コロナウイルス流行拡大に伴い、延期（2名）
- ②①で延期になった分をR4年11月8日～18日実施
- ③R5年3月6日～16日実施（2名）

---

合 計

17名

(2) 施設実習／県外

東京家政大学

令和4年12月12日～12月24日実施（2名）

---

合 計

2名

(3) 里親

○長期休みのふれあい里親事業 各里親宅 6名 利用

(金山春雄、金山華連、石戸愛斗、渡邊紡実、上原来巳輝、高久孝太郎)

○養育体験事業体験者受け入れ 月日( ) 里親 名( 組)

月 日	里親名	体験場所	住所	内容
4月23日		氏家養護園	宇都宮市	養育体験のみ
		氏家養護園	同上	養育体験のみ
6月10日		氏家養護園	大田原市	基礎研修 座学
		氏家養護園	那須塩原市	基礎研修 座学
		氏家養護園	同上	基礎研修 座学
		氏家養護園	那須塩原市	基礎研修 座学
		氏家養護園	同上	基礎研修 座学
		氏家養護園	高根沢町	基礎研修 座学

		氏家養護園	那須塩原市	基礎研修 座学
6月11日		氏家養護園	大田原市	基礎研修養育体験
		氏家養護園	那須塩原市	基礎研修養育体験
		氏家養護園	同上	基礎研修養育体験
		氏家養護園	那須塩原市	基礎研修養育体験
		氏家養護園	同上	基礎研修養育体験
		氏家養護園	高根沢町	基礎研修養育体験
未委託里親養育体験				
12月3日		氏家養護園	那須郡那珂川町	養育体験のみ
		氏家養護園	同上	養育体験のみ

○里親制度の普及啓発

日時	場所	内容
10月11日(火) 7:30~	宇都宮市カンセキスタジアム	国体閉会式の日にて啓発活動
10月15日(土)	さくら市公民館	さくら市福祉祭りにて啓発活動
10月23日(日)	とちぎ福祉プラザ	栃木県里親大会にて啓発活動

○県北地区里親会行事参加

月日(曜日)	場所	内容	備考
7月30日(土)	ロハス58クラブ(矢板市)	空中アスレチック BBQ、ジップライン、屋内レクリエーション	コロナのため中止
11月19日(土)	那須動物王国(那須町)	動物とのふれあい バーベキュー	参加

○県北地区里親サロン・ひよこサロン参加 (全12回参加)

里親サロン 毎月第4火曜日 (8回参加)

ひよこサロン 奇数月第1金曜日 (3回参加)

ペアレントトレーニング (1/24 1回参加)

○里親支援部会への参加

NO	月日(曜日)	場所	内容
第1回	2022年 5月19日	県庁	役決め、ふれあい里親、研修、施設実習
第2回	2022年 8月30日	県庁	登録前里親研修、里親大会、未委託里親実習について
第3回	2022年11月25日	養徳園	里親マッチングについて
第4回	2023年 2月27日	福祉プラザ	TFC 活動発表、茨城県里親支援部会実践発表、グループディスカッション

○フォスタリング連絡会議 県北児童相談所(奇数月第4水曜日)

5/25、7/23、9/27、11/24、1/25、3/22 計6回参加

○里親応援会議出席 5月 20日(金) 里親(フォスタリングパートナーとして)

NO	月日（曜日）	場所	内容
第1回	2022年 5月20日	県北児相	深澤春陽くん 情報提供・共有／応援会議

○家庭訪問（計15回）

●TFC フォスタリングパートナーとしての家庭訪問

里親宅(県北) 里親さん宅（ 君）9回(委託後支援)  
 (6/6 6/24 7/21 8/5 8/26 9/16 10/28 12/15 2/17)

●里親さんからの依頼を受けて

里親さん（シホさんさん支援） 1回  
 里親さん 不登校支援 1回

（フリースクール紹介および案内）

●さくら市ショートステイ希望里親さん宅家庭訪問

里親さん、 里親さん、 里親さん、 里親さん 各1回

○里親カフェ(フォスタリングセンター)の手伝い

月日（曜日）	場所	内容
5月14日(土)	フォスタリングセンター	里親カフェ
7月9日(土)	フォスタリングセンター	里親カフェ
8月20日(土)	健康の森	里親カフェ
9月17日(土)	真岡市公民館	里親制度説明会
11月19日(土)	栃木県青少年センター アミークス	ファミリーホーム制度説明会

○フォスタリングパートナー研修参加 於：とちぎ福祉プラザ

4/15、6/9、9/9、12/9、2/10 計5回参加

○栃木フォスタリングセンター開設100周年記念講演会

日時：10月14日（金）

場所：とちぎ福祉プラザ

○全国里親大会・関東甲信越静地区里親研修会

日時：10月8日(土)～9日(日)

場所：ZOOM・オンデマンドのオンライン参加

○栃木県里親大会

日時：10月23日(日)

場所：とちぎ福祉プラザ

○栃木県里親会全体研修

日時：令和5年2月4日( )

場所：とちぎ男女共同参画センター パルティール

○新規委託里親研修

日時：令和5年3月11日(土) 10:00～

場所：とちぎ男女共同参画センター パルティール

○里親リクルート

日時	氏名	住所	備考
2022. 4. 14 (木)		宇都宮市	リクルートの協力依頼
2022. 5. 2 (月)		真岡市	リクルート及び協力依頼
2022. 5. 13 (金)		さくら市	
2022. 5. 16 (月)		高根沢町	
2022. 5. 17 (火)		さくら市	ファミリーホーム希望
2022. 6. 8 (水)		宇都宮市	
2022. 6. 29 (水)		大田原市	2022年度登録済
2022. 7. 11 (月)		鹿沼市	リクルートの協力依頼
2022. 7. 20 (水)		那須烏山市	R5年度に研修に入りたい
2022. 7. 21 (木)		小山市	東京へ転居のため栃木での研修には入れず
2022. 8. 10 (土)		矢板市	8/20 里親カフェに参加

○ショートステイ里親関係

会議 4/20、5/20、6/30、7/29、8/31、11/2

ショートステイ里親さん研修 9/10

○里親交流会 (養徳園)

ウォークラリー 10/10

○里親支援専門相談員関係研修 (初心者研修を含める)

月日 (曜日)	場 所	内 容
5月6日 (金) (栃養協)	県庁研修館講堂	新任者研修「社会的養護の基本的理解」
7月14日 (木) (栃養協)	とちぎ青少年センター 多目的 ホール	新任者研修「ビジネスマナー」
9月8日 (木) (栃養協)	Zoom オンラインにて	新任者研修「発達に関わる理解」
11月10日 (木) (栃養協)	Zoom オンラインにて	新任者研修「トラウマ」「学校との連携」
11月21日 (月)	Zoom オンラインにて養徳園	被措置児童等自殺防止研修 講師：小久保
11月25日 (金)	養徳園 オンデマンド	被措置児童等の権利擁護・虐待根絶のための研修
11月29日 (火)	養徳園 オンライン研修	フォスタリング機関職員研修 里親養育原論1.2.3、フォスタリング業務総論、演習1.2.3.4.5、
11月30日 (水)	養徳園 オンライン研修	フォスタリング機関職員研修 フォスタリング業務各論1.2.3
12月13日 (火)	とちぎ男女共同参画	里親研修

(里親連合会研修)	パーティー	「里親委託費について」
2月4日(土) (里親連合会研修)	とちぎ男女共同参画 パーティー	里親全体研修 「里子の話を聞いてみよう」
2月6日(月)	東京赤坂 日本財団ビル	フォスタリングチェンジプログラムファシリテーター講座
2月7日(火)	東京赤坂 日本財団ビル	フォスタリングチェンジプログラムファシリテーター講座
2月8日(水)	東京赤坂 日本財団ビル	フォスタリングチェンジプログラムファシリテーター講座
2月9日(木)	東京赤坂 日本財団ビル	フォスタリングチェンジプログラムファシリテーター講座
3月10日(金)	養徳園 オンライン	FLEC フォーラム
3月11日(土)	養徳園 オンライン	FLEC フォーラム
3月12日(日)	早稲田大学 11号館及び国際会議場	FLEC フォーラム
3月15日(水)	自宅 オンライン研修 (イギリスからオンライン)	日本国際社会事業団主催「子どもの「生い立ちの整理」を支援しようライフストーリーワークを学ぶ」 講師：ジョアンヌ・アルパー
3月25日(土)	養徳園 オンライン研修	早稲田大学社会的養育研究所 事業報告会

○協働関係構築講座 ”協働のチカラ”～里親支援にアクションをおこす～ (10:00～16:30)

8/27、9/3、9/8、10/8、10/22、12/10、12/17、1/7、1/21、3/4 計10回参加

### (3) ボランティアの受け入れ

余暇支援・・・明治安田生命保険相互会社 (11 / 2)  
宇都宮大学教育学部 (12 / 4)  
中山里子 (3 / 19, 3 / 25)  
渡辺けあき (3 / 27)  
奉仕作業・・・明治安田生命保険相互会社 (5 / 17)  
さくら市更生保護女性会 (12 / 3)  
ヒーローショー・・・オオイワタイムズ トチノキッド (12 / 24)  
主な寄付・・・佐藤利廣 (食材)  
松崎屋本店 (食材)  
POST・DE・BLE (パン)  
添田一 (食材)  
西導寺 (食材)  
齋藤保夫 (食材)  
マルハン氏家店 (お菓子)  
植木武 (食材)  
さくら市更生保護女性会 (衛生用品等)  
チュチュアンナ1%クラブ (靴下)  
タカクノカモソバ (蕎麦)  
妙福寺 (食材)

神山拓弥 (玩具等)  
 明治安田生命保険相互会社 (玩具等)  
 浜野敏夫 (DVD)  
 アシード株式会社 (ジュース)  
 栗原畜産 (食材)  
 Yoshi つね (お菓子)  
 フレーベル館 (書籍)  
 NPO 法人みんなだれかの仲良しの世界 (お菓子)  
 Daska&Desiree (お菓子)  
 瀧澤直人 (食材)  
 佐々木詩芸 (お菓子)  
 Milele binti (食材等)  
 大野ぶどう園 (食材)  
 匠屋 (食材)  
 桑島俊雄 (お菓子)  
 大善院 (お菓子)  
 加納光明 (ジュース等)

## 7. 防災関係

4月 6日	令和4年度 消防計画 (変更) 届出書	消防署提出
10日	避難・消火訓練	園内
5月 28日	避難・消火訓練	園内
6月 26日	夜間想定訓練	園内
7月 23日	避難・消火訓練	園内
8月 15日	避難・消火訓練	園内
9月 17日	避難・消火訓練	園内
22日	さくら市防災行政無線 (移動系)	点検
10月 8日	避難・消火訓練	園内
11月 13日	避難・消火訓練	園内
12月 18日	避難・消火訓練	園内
1月 15日	避難・消火訓練	園内
2月 11日	避難・消火訓練	園内
15日	総合訓練用 消防訓練計画書	消防署提出
3月 4日	総合・避難訓練 通報・水消火器 訓練 消防職員派遣	園内
・	消防用設備等 自主点検チェック	年2回 4月・10月
・	消防用設備等の法定点検 笹沼防災	年2回 10月・2月
・	自主点検チェック (火気関係) 毎日	

## 8. 各グループ報告

### <おおぞらグループ>

#### (1) 子どもの構成

- |          |       |
|----------|-------|
| ① 中学3年男児 | 氏家中学校 |
| ② 中学2年男児 | 氏家中学校 |
| ③ 小学3年男児 | 南小学校  |
| ④ 小学3年男児 | 南小学校  |
| ⑤ 小学3年男児 | 南小学校  |
| ⑥ 小学2年男児 | 南小学校  |
| ⑦ 小学1年男児 | 南小学校  |

#### (2) 職員構成

- |      |                |
|------|----------------|
| 小野明美 | (保育士・ユニットリーダー) |
| 永井健二 | (指導員・グループリーダー) |
| 後藤紀子 | (保育士)          |
| 小林秀和 | (保育士)          |
| 竹村有貴 | (心理士)          |

#### (3) 通学状況

- |       |          |
|-------|----------|
| 氏家中学校 | 2名 (自転車) |
| 南小学校  | 5名 (徒歩)  |

#### (4) グループ行事

- 8月 夏休みキャンプ  
2月 食事会

#### (5) 定期通院状況

- |                     |    |     |         |
|---------------------|----|-----|---------|
| 宇都宮済生会病院・小児科        | 1名 | 1ヶ月 | 1回      |
| 国際医療福祉大学塩谷病院 (リハビリ) | 1名 | 1ヶ月 | 1回      |
| おのこどもクリニック          | 1名 | 1ヶ月 | 1回 (服薬) |
| 中川耳鼻科               | 1名 | 1ヶ月 | 1回 (服薬) |

#### (6) 生活状況

- ・今年度よりグループの構成メンバーが少なくなったため、担当との個別な時間を確保できゆったりと関わりを持つことが出来た。
- ・活発な子が多く賑やかだった。
- ・全員順調に、登校が出来た。
- ・小学生の学習する習慣は身につけているが、中学生の学習については、宿題以外の家庭学習がなか

なか定着しない。

- ・年上の子が、年下の子を可愛がり面倒を見る姿も見られたが、年下の子の騒がしさに我慢できず、年上の子が年下の子に対し、強く当たってしまうことも見られた。
- ・自分が関係ないところで他児に干渉してしまい必要のないトラブルが多かったように思われる。
- ・整理整頓が苦手な子が多く、部屋が散らかることも多いが、少しずつ自分なりに片付けようとする姿が見られるようになってきた。
- ・コロナウイルスへの感染予防に心掛け、感染者を出さずに1年間を過ごすことができた。

#### (7) 今後の課題

- ・健康に留意し、元気に過ごす。
- ・挨拶、お礼が言えるようにする。
- ・思いやりの心が養える様支援する。
- ・自分の持ち物の整理整頓ができ、物を大切にすることを養えるよう支援する。
- ・中学生の家庭学習の習慣化を図る。
- ・様々な社会体験を通して、自分にできることを見出すとともに、自己肯定感が持てるよう支援していく。

#### <だいちグループ>

##### (1) 児童

- 高校2年生男児 県立宇都宮白楊高等学校
- 中学3年生男児 市立氏家中学校
- 中学2年生男児 市立氏家中学校 ※自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍。
- 中学1年生男児 市立氏家中学校
- 小学6年生男児 市立南小学校
- 小学3年生男児 市立南小学校
- 小学3年生男児 市立南小学校
- 小学1年生男児 市立南小学校 ※知的障害特別支援学級に在籍。

##### (2) 職員 ※正職員4名 非常勤職員1名

- 館野 義博 (男性) 社会福祉士、保育士、ユニットリーダー
- 桑原 亮太 (男性) 保育士、グループリーダー
- 片岡 弘江 (女性) 児童指導員 \*6月からそよかぜグループへ異動。
- 諏訪 すすか (女性) 児童指導員 (常勤的非常勤)
- 齋藤 好一 (男性) 統括主任、ユニットリーダー
- 亀山 勝伸 (男性) 自立支援専門相談員

##### (3) 通学状況

- 市立氏家中学校 3名 (自転車通学・片道5km)
- 市立南小学校 4名 (徒歩通学 ※通学指導として職員1名付き添い)

(4) ユニット行事報告

- 2月 グループお楽しみ会（食事会）
- 年7回 担当ごとの誕生日会
- 年3回 グループ調理

(5) 定期通院状況

- 国際医療福祉大学リハビリテーションセンター 2名：中学3年生男児（月1回 服薬）  
中学2年生男児（月1回 服薬）
- 国際医療福祉大学病院 1名：小学3年生男児（年4回 定期通院）
- 国際医療福祉大学塩谷病院 1名：小学1年生男児（月1回ずつ OT, ST）
- 自治医科大付属病院 1名：小学3年生男児（年1回 定期通院）
- おの子どもクリニック 1名：小学3年生男児（月1回 服薬）
- 氏家皮膚科 3名：小学6年生男児（月1回 塗布薬）  
小学3年生男児（月1回 服薬、塗布薬）  
小学1年生男児（月1回 塗布薬）
- 中川耳鼻科 1名：中学1年生男児（月1回 服薬）

(6) 生活状況報告

- 昨年度から中学生1名が加わり、それ以外の子どもたちグループ間の移動がなくスタートした。日課や規則に対してもメンバー構成がほぼ変わらなかったこともあり子どもたちの中でも継続出来ていることが多かった。また職員も各学年や年齢に合わせた生活支援をすることが出来た。子どもだけではなく、職員も一緒に屋外で過ごす時間をつくることも出来た。食事の時間・入浴の順番・起床就寝の時間など、子どもたち自身は考えながら生活を送っている様子が見られた。しかし、おやつを食べ過ぎや食事に影響してしまう時間の間食で食事量に影響が出てしまうこともあった。
- 受験生の中学3年生男児1名は、一般受験で希望する矢板高校農業経営科へ進学することが出来た。
- 年度後半の2月に中学1年生男児が事故にあう。自転車の乗り方、交通安全に関する話を再度した。
- 年度中に4人がコロナウイルスに罹患し隔離対応をした。子ども達も個室隔離などの協力をしてくれたため感染拡大は防げた。子どもたちが健康に留意しながら過ごしていけるよう引き続き感染対策を行っていく。
- グループの職員間での情報共有が不足しており支援方法などについてもリーダーから話し合う機会を作っていくこと以外にも確認しながら物事の判断をしていく必要があった。

(7) 今後の課題

- 子ども個々が居心地の良さを感じて生活ができるように支援していく。

- 日々の生活を通して、子どもたちが思いやりの心を育ていけるように関わる。
- 安心感のある場所で大切にされる経験を子どもたちに提供していけるよう、職員間で細かく情報を共有して支援をしていく。
- 健康に留意して、心身ともに健やかに成長をしていけるように見守っていく。
- 個々に合った基本的な生活習慣を身に付けていけるよう支援する。
- 学習に対して、意欲的に取り組み習慣化に繋がるように個々に合わせた学習支援をしていく。その中で進路決定に向けて、子どもと話をしながら目標を設定して支援していく。
- 自立を視野に入れ、部活動や様々な活動を通して社会性を養って行けるように支援していく。

#### <ひだまりグループ>

##### (1) 子どもの構成

- ① 高校2年女児 作新学院高校 ※令和5年3月29日付で琴平の家へ移動
- ② 小学5年女児 南小学校 ※令和5年3月27日付で家庭復帰
- ③ 小学4年女児 南小学校
- ④ 小学3年女児 南小学校
- ⑤ 小学1年女児 南小学校
- ⑥ 幼稚園年長児 氏家幼稚園 ※令和5年3月27日付で家庭復帰

##### (2) 職員構成

- 大根田枝里子 (保育士、グループリーダー)
- 長谷川友美 (保育士)
- 齋藤玖弥 (保育士)
- 上野奈緒 (保育士) ※令和4年4月12日より産休
- 酒井春子 (ファミリーソーシャルワーカー)

##### (3) 通学状況

- 作新学院高校 1名 (自転車、電車、バス)
- 南小学校 4名 (徒歩)
- 氏家幼稚園 1名 (通園バス)

##### (4) グループ行事

- お楽しみ会 (2月)
- 園内にて行なう

##### (5) 定期通院状況

- 檜山医院 2名 月1回 (服薬)
- おのこどもクリニック 2名 月1回 (服薬)
- はやさか眼科 1名 3か月に1回
- 早坂眼科 1名 2ヶ月に1回

塩谷病院	1名	月2回
福澤歯科クリニック	2名	月1回

(6) 生活状況

- ・定員が6名で、それぞれが落ち着いた雰囲気の中で、生活することができた。
- ・持病のある子どもは服薬しているが、とても健康的で元気に生活出来ていた。
- ・新1年生も含め、小学生は学校の宿題を終わらせる習慣が身に付き、まじめに取り組むことができた。
- ・時々欠席してしまう子もいたが、長引くことなく登校できていた。
- ・コロナ禍で行事が思うようにできなかった。さらに子どもたちは外出等を思うようにできなかったけれど、子どもたちは我慢してくれて、とてもありがたかった。また、実際にグループ内でコロナ感染者が出てしまったが、個室隔離になってしまっても、子どもたちは我慢してくれて、感染を最小限に留めることができた。

(7) 今後の課題

- ・コロナ等感染症にかからないため、手洗いうがい、消毒、マスクの着用を促す等健康に留意し、毎日元気に過ごす。
- ・個々の生活スタイルを重視し、子どもそれぞれに合った支援を職員全員で考え、チームで支援していく。
- ・子どもと大人の間で信頼関係を形成し、お互いに尊重し合えるような関係を結ぶ。

<そよかぜグループ>

(1) 子どもの構成

- |          |           |            |
|----------|-----------|------------|
| ① 幼稚園年長  | 喜連川幼稚園    | 令和4年1月6日退所 |
| ② 幼稚園年長  | 喜連川幼稚園    | 令和4年1月6日退所 |
| ③ 幼稚園年長  | 氏家幼稚園     |            |
| ④ 小学2年男児 | 南那須特別支援学校 |            |
| ⑤ 小学3年女児 | 南小学校      |            |
| ⑥ 小学3年女児 | 南小学校      |            |
| ⑦ 小学6年女児 | 南小学校      |            |

(2) 職員構成

- |      |                |              |
|------|----------------|--------------|
| 齋藤千尋 | (保育士・グループリーダー) | 令和4年12月31日退職 |
| 後藤華織 | (指導員)          |              |
| 佐藤優衣 | (保育士)          |              |
| 摂津莉未 | (保育士)          | 令和4年5月31日退職  |
| 山田香苗 | (FSW)          | 令和4年4月30日退職  |

(3) 通学状況

氏家幼稚園	1名 (バス)
きつれ川幼稚園	2名 (バス)
南那須特別支援学校	1名 (バス)
南小学校	3名 (徒歩)

#### (4) ユニット行事

5月	グループ調理
8月	グループ調理
10月	グループ調理
1月	グループ調理
2月	ユニットお楽しみ会

#### (5) 定期通院

○小3女兒	おのこどもクリニック	月1回
	リハセン通院	月1回
○年長女兒	おのこどもクリニック	月1回
○年長女兒	リハセン通院	月1回
○年長男児	リハセン通院	月1回

#### (6) 生活状況

- ・男児が加わったがそれによるトラブルや性的なトラブルもなく、男女仲良く生活することができた。
- ・コロナ禍で外出や行事等がなかなかできない状況で、グループ内でのお楽しみ会や調理などを取り入れ、子ども達が楽しく生活を送れるような工夫を行った。
- ・順調に登園・登校が出来た。
- ・落ち着いて生活することができた。

#### (7) 今後の課題

- ・昨年度から継続し手洗い・うがい・消毒を徹底する。
- ・子ども達が自信を持てるような関わりを意識していきたい。
- ・初めてのことや出来ないことにも積極的に取り組みながら、達成感を感じられるような生活を目標したい。
- ・子ども達が楽しんで生活が送れるように、一緒に考え楽しみを持って生活が送れるようにする。
- ・子どもと大人の間で信頼感を形成し、お互いに尊重し合えるような関係を結ぶ。
- ・グループの職員の報告・連絡・相談の徹底をしていく。

#### <みやこ家>

##### (1) 在園児童 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

宇都宮ビジネス電子専門学校	1年	男児	※ 措置延長
県立さくら清修高等学校	3年	男児	

私立作新学院高等学校	2年 男児
県立烏山高等学校	2年 男児
私立文星芸大附属高等学校	2年 男児
私立矢板中央高等学校	2年 男児

(2) 職員構成 ※ 正職員3名、非常勤職員1名

三ツ俣 悟	／保育士 (グループリーダー)
福田 亘	／指導員
丸山 翔太	／指導員
長内 紀代子	／非常勤

(3) 通学状況

各自、徒歩や自転車、定期券を購入して公共交通機関を利用して通学している。

(4) 行事報告 (参加児童)

令和3年	5月 5日	お楽しみ会 (本園)
	12月23日	クリスマス会 (本園)
	日	クリスマス会 (みやこ家)
		参加児童：全員
	12月28日	餅つき (本園)
		参加児童：陣立昂、陣立高、勝間田、柴田、鈴木
令和4年	3月19日	卒業を祝う会
		参加児童：全員

※ 子どもの誕生日会を実施

※ 自立支援専門相談員から情報提供を受けて、とちぎユースアフターケア主催の自立支援プログラムへ参加をした。

(5) 定期通院状況

・中川耳鼻咽喉科医院	男児4名	※アレルギー症状の状況に合わせて通院 慢性副鼻腔炎の症状のため
・かとう眼科	男児2名	※定期視力検査、コンタクトレンズ購入
・斎藤矯正歯科	男児1名	※歯列矯正のため
・慶友病院整形外科クリニック	男児1名	※左肘内側副靭帯損傷のため

(6) 生活状況

- ・本年度から専門学校に通う1年生の措置延長児1名を含む6名でスタート。生活リズムも違い、同じ時間を過ごすことも限られていたが、昨年度からグループのメンバーが変わらなかったことで、子ども同士の関係も年度当初から1年間を通して和やかな雰囲気であった。

- ・生活リズムが崩れることもなく、各自で生活を組み立てながら過ごすことができていた。しかし、不規則な生活になることはなかったが、ゲームやスマホなどに時間が偏り、学習面が疎かになってしまうことはあった。
- ・昨年度から継続して3名が1年間アルバイトを行うことができたが、思うようにシフトに入れないうこと、進路決定に向けて学習に力を入れたいなどの理由で、全員が年度末でアルバイトを辞めた。
- ・今年度も高校生全員が部活に所属して活動していた。その中でも、パワーリフティング部で活動する2年生の児童は、全国大会に出場する活躍であった。

#### (7) 健康面

- ・昨年度から継続して同じ4名がアレルギー症状により定期通院を行った。また、歯列矯正を行っている1名が引き続き月1回の定期通院を行った。副鼻腔炎の症状があった児童は、症状が悪化して慢性的なものとなり、月1回の定期通院と移行した。
- ・硬式野球部に所属する児童は、以前から痛みがあった左肘を専門医がいる群馬県館林市の慶友整形外科クリニックにて5月に精密検査を受け、「左肘内側副靭帯損傷」と診断される。その後は月1～2回程度、治療や検査、診察のため通院。
- ・3月末に肛門の痛みを訴えて黒須病院を受診。「痔瘡」との診断を受ける。患部の状況から手術による除去が必要であるため、3月31日に腰痛麻酔による除去手術を行う。翌4月1日に退院。その後は経過良好、再発もしていない。
- ・体調不良などの場合、職員の付き添いで適時通院をした。症状回復後の再通院、そのときの症状や容体など、状況によっては児童だけで通院を行った。また、運動部所属の児童が練習中の怪我等（主に捻挫や打撲）で整形外科、整骨院へ通院する機会が多かった。

#### (8) 進路

措置延長で専門学校に通っていた児童は3月に一人暮らしを始めて自立。高校3年生の児童は、専門学校への進学を希望し、コロナ禍でオープンキャンパスなども限られた状況ではあったが、希望する東京の専門学校へ進学することができた。

#### (9) 家族関係

- ・連絡や面会などについては、児相からの情報をベースにして、それぞれの家族の状況、また児童の意向に合わせて、園内で協議検討したうえで対応した。
- ・進路など家族との情報共有が必要な場合に関しては、その子どもの状況に合わせ、家族と連絡を取り合うようにした。話し合いが必要な場合、児相を含めて機会を設けて行った。また、園からの連絡は取れない場合には、児相と連携をして状況確認を行った。
- ・家族と連絡を取り合える児童は、児相に確認をしたうえで、各自連絡を取っていた。

#### (10) 今後の課題

- ・安定した高校生活を送れるよう支援する

- ・部活やアルバイトを通して社会性を身につけていけるように支援をしていく
- ・進路の実現に向けて、情報の提供と共有をしていく
- ・自立後のイメージを持てるようにリービングケアの充実を図っていく
- ・ひとり暮らしの手続きや準備などについて子どもたちと一緒に考える機会をつくる

#### <琴平の家>

##### (1) 子どものメンバー

- 1 高校3年生(女子) 栃木県立高根沢高等学校
- 2 中学2年生(女子) さくら市立氏家中学校
- 3 中学2年生(女子) さくら市立氏家中学校
- 4 小学6年生(男子) さくら市立南小学校
- 5 小学3年生(男子) さくら市立南小学校
- 6 小学1年生(男子) さくら市立南小学校

##### (2) 職員 3名

- 1 大谷典子 (女) 保育士
- 2 竹石朋浩 (男) 指導員
- 3 松崎剛史 (男) 指導員
- 4 渋谷啓子 (女) 非常勤

##### (3) 通学状況

高校生

定期券を使い、JRの公共交通機関を利用して通学している。

中学生

自転車にて通学している。

小学生

送迎にて登下校。

##### (4) 行事報告

- |               |              |
|---------------|--------------|
| R4年 5月5日      | お楽しみ会        |
| R4年 8月1日      | お楽しみ会        |
| R4年 8月7. 8日   | 小2—4年生 キャンプ  |
| R4年 8月9. 10日  | 小5—中3年生 キャンプ |
| R4年 8月11. 12日 | 幼児—小1年生 キャンプ |
| R4年 9月23日     | お楽しみ会        |
| R4年10月29日     | ハロウィンパーティー   |
| R4年12月24日     | クリスマス会       |
| R4年12月29日     | 餅つき          |
| R5年 2月18日     | スキー・スノボード    |

R 5 年 3 月 1 9 日 卒業を祝う会  
R 5 年 3 月 2 7 日 ボーリング招待

\* 子どもの誕生会実施（希望に応じてのメニューを作りお祝い）

(5) 定期通院状況

中学 2 年生双子の姉妹 斜視にて年 1 回通院。

(6) 生活状況

6 名でのスタートとなった。

小学 6 年生、家庭戻しのため 3 月措置解除。

中学生 部活動に励む。

高校生 バイト行方が長続きせず。

(7) 今後の課題

中学生 社会性を身につける。

学習と部活動の両立。

現実を伝えながら高校へ行く意識付けをしていく。

高校生 安定した学校生活の充実。

目標を持ち達成する経験を体験させる。

自立に向けての情報提供、社会生活を営む力を培う。

アルバイトを通じて社会性を身につける。

互いに学び合い、成長し合う関係を作る。

(8) 令和 5 年度の目標

家庭的な環境での支援を実施しながら、子どもたちの家として安心した当たり前の生活が営んでいけるようにしていきたい。

振り返りながらケアをよく出来るように心掛ける。

中学生 学習と部活動の両立と共に高校進学を意識付けをしていく。

高校生 高校卒業をめざし高校生活への充実を図ると共に社会性を身につける。

高校生としての自覚を持ち、家事を行うことにより生活スキルの向上を目指す。

子どもと職員との共有時間を沢山持てるようにする。

9. 各支援グループ報告

①食育支援グループ

- ・各グループで朝、昼、夕食の献立を決めてもらい希望献立を取り入れた。
- ・畑で栽培した野菜を収穫して、メニューに取り入れることによって子ども達も積極的に野菜を食べてくれるようになり収穫するのを楽しみにしている様子が見られるようになった。
- ・食育の一環として工場見学を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

## ②子ども会議支援グループ

令和4年4月19日 参加者：大根田、佐藤、廻谷、後藤

### 【実施内容】

- ・子ども会議の目的や意義、進行の仕方、会議の日程などについて確認を行う。
- ・今年の子ども会議(子どもを含めた)で話し合う内容のテーマについての確認を行う。

令和4年4月19日 参加者：在園児童(小2～中3)、大根田、廻谷、後藤

### 【実施内容】

- ・ひだまり・そよかぜ・翼…(19:20～19:40)、だいち・おおぞら…(19:40～20:00)、中学生…(20:00～20:20)に分けて研修室にて行う。
- ・子ども会議は何をする場なのか、意見箱について、子ども会議の日程について確認を行う。
- ・子どもの意見を拾う為に、用紙に意見や思っていること等を自由に記入してもらう。

令和4年5月18日 参加者：在園児童(小2～中3)、園長、佐藤、廻谷、後藤

### 【実施内容】

- ・ひだまり、そよかぜ、翼…(19:20～19:40)、だいち、おおぞら…(19:40～20:00)、中学生…(20:00～20:20)に分けて、研修室にて行う。
- ・楽毅より、夏休みの中でお楽しみ会を子どもたちで開催したいことを皆に話をして了承を得る。
- ・5月お楽しみ会の感想や意見を聞く。

令和4年6月21日 参加者：佐藤、廻谷、後藤

### 【実施内容】

- ・次回の子ども会議の日程変更や議題の確認を行う。
- ・夏のお楽しみ会のいろいろな案やswitchの件についての取りまとめや確認を行う。

令和4年7月11日 参加者：在園児童(小2～高1)、園長、大根田、佐藤、廻谷、後藤

### 【実施内容】

- ・ひだまり・そよかぜ・翼…(19:20～19:40)、だいち・おおぞら…(19:40～20:00)、中学生…(20:00～20:20)に分けて、研修室にて行う。
- ・以前から要望の出ていたSwitchの使用について、園長より話をしてもらう。
- ・お楽しみ会について、日時、内容等、確認をしていく。

令和4年9月20日 参加者：大根田、廻谷、後藤

### 【実施内容】

- ・意見箱の中に入っていた子どもたちの意見の確認、共有を行う。
- ・次回の子ども会議の日程変更や議題の確認を行う。

令和4年9月27日 参加者：在園児童(小2～高1)中3修学旅行のため欠席)、佐藤、後藤

**【実施内容】**

- ・ひだまり・そよかぜ・翼…(19:20～19:40)、だいち・おおぞら…(19:40～20:00)、中学生…(20:00～20:20)に分けて、研修室にて行う。
- ・8／1、9／23のお楽しみ会、キャンプ行事についての感想や意見を聞く。
- ・その他に何か意見があるかを確認する。

令和4年10月19日 参加児童：在園児童（小2～中3）、佐藤、後藤

**【実施内容】**

- ・ひだまり・そよかぜ・翼…(19:20～19:40)、だいち・おおぞら…(19:40～20:00)、中学生…(20:00～20:20)に分けて、研修室にて行う。
- ・ミーティングルームの使用について（使用時間・条件・禁止事項・本のしまい方など）、再度確認する。

令和4年11月15日 参加者：大根田、佐藤、後藤

**【実施内容】**

- ・11月子ども会議の日程変更や今後の予定、議題の確認を行う。
- ・意見箱に入っていた意見についての確認をする。グループ備品のこのため、グループに伝えて対応してもらおうことを共有する。

令和4年12月21日 参加者：在園児童（小2～中3）、佐藤、後藤

**【実施内容】**

- ・ひだまり・そよかぜ・翼…(19:20～19:40)、だいち・おおぞら…(19:40～20:00)、中学生…(20:00～20:20)に分けて、ミーティングルームにて行う。
- ・今年の行事の感想、自由意見などを聞く。
- ・他に何か意見があれば、意見箱に入れて欲しいことを伝える。

令和5年1月17日 参加者：大根田、佐藤、後藤

**【実施内容】**

- ・次回の子ども会議の議題について確認を行う。
- ・今後、ゲーム契約書の見直しを行いたいこと共有していく。

令和5年2月7日 参加者：在園児童（小2～中3）、大根田、佐藤、後藤

**【実施内容】**

- ・ひだまり・そよかぜ・翼…(19:20～19:40)、だいち・おおぞら…(19:40～20:00)、中学生…(20:00～20:20)に分けて、研修室にて行う。
- ・一年を通してのフリーアンケートの振り返りや自由意見を聞く。
- ・今年度のこども会議は本日で終了すること、みんなの声は常に設置してあるため何か意見等がある場合にはみんなの声に入れて欲しいことを伝える。

○今年度の子ども会議の反省

- ・子ども会議の日程について、今年度は毎月第3水曜日に行うことにした。今年度も定期的に行うことが出来て良かった。ただコロナ流行のため、中止にせざるを得ない月もあった。
- ・一人のアイデアからお楽しみ会にもつなげることが出来た。グループ毎に考えたもので、子どもたちも楽しむことができて良い経験になったと思う。
- ・コロナの状況も去年とはまた違って行事も少しずつ楽しめた部分はあるが、期待していた分、中止になった時はとても残念がっていた。来年度はより行事も楽しめるよう前向きな言葉をかけていった。また、みんなの声は常に設置してあるため、何か不満や意見等がある場合にはいつでも、みんなの声を使ってほしいことを伝えることができた。

### ③余暇支援グループ

令和4年4月19日（火）参加者：亀山 齊藤（好）桑原 小林 長谷川 摂津 雫

#### 【実施内容】

- ・令和3年度の行事实施状況、支出状況の報告
- ・令和4年度の行事計画、担当職員決め  
今年度もコロナの状況で行事が実施できるかは不明だが、子ども達が楽しめるような計画を立て、判断していかなければならない。
- ・お楽しみ会を8月行事としているが、8月に固執せず、別の月に企画してもいいと考える。企画日も担当職員に任せる。
- ・ふれあい祭りが中止となったので、5月5日の子どもの日に園内で行えるような行事企画を進めていく。
- ・琴平、みやこ家の職員にも行事を担当してもらい、盛り立てていくようにする。
- ・園長より・・・子ども達が楽しめるような行事を企画してほしい。子ども達が楽しむには、職員も盛り上げ、職員も一緒に楽しんでほしい。

令和4年6月21日（火）参加者：亀山、齊藤（好）桑原 小林 片岡

#### 【実施内容】

- ・夏のキャンプについて、去年、一昨年とコロナの影響で行えていないので、今年度は余暇係としては行う方向で進めていきたい。但し、感染対策をしっかりと行い、混雑しない場所やコテージなどを選ぶようにする。
- ・子ども会議より、子ども達主体でのお楽しみ会を8月1日に行う予定。
- ・8月以降にも、お楽しみ会を行う予定ではあるが、全体で行うのか、グループ内で行うかは今後、お楽しみ会の係で決めていく。
- ・各グループで行くプールについては、今後の感染状況等もあるので未定。
- ・園内でのプールについては準備、片付けは余暇係で行う。

令和4年9月20日（火）参加者：亀山、齊藤（好）桑原 長谷川 小林 雫

#### 【実施内容】

- ・夏のキャンプ行事、事故やケガ等なく無事に行なう事が出来た。
- ・今年度、社会体験をどうするか？グループで行くのか全体として行くのか、社会体験の係に内容と時

期も含め、どうするか決める。

令和4年11月15日（火）参加者：亀山、齊藤（好）桑原 長谷川 小林 片岡 雫

【実施内容】

- ・今後の予定について
- ・コロナ等で初詣に行くのが出来なければ、DVD観賞を行い昼食を食べながら、のんびり過ごすのも良いのでは。
- ・お正月に園庭で凧揚げや羽根つきなどお正月らしい遊びをするのも良い。
- ・サッカーボール等、欲しい用具があれば余暇を通して対応する。

令和4年11月15日（火）参加者：亀山、齊藤（好）桑原 長谷川 小林 片岡 雫

【実施内容】

- ・今後の行事予定
- ・令和5年度、ふれあい祭りを実施するかは未定。
- ・小規模はどこまで行事に参加してもらおうのだろうか。今後は外だしグループが増えるので考えて進めていかなければならない。

<今年度の反省>

- ・コロナウイルスの影響により「ふれあい祭り」等の幾つかの行事を行う事が出来なかったが、夏のキャンプは感染対策をしっかりと行い、混雑しない場所やコテージなどを選び行うことが出来、子ども達の良い思い出になった。
- ・子ども会議と連携して子ども達の意見を聞き、子ども達が主体となり、お楽しみ会を開きグループでカレーを作ったり、夏祭りの縁日のようにしたりと工夫を凝らして行うことが出来た。
- ・招待行事も何件もあり参加することが出来た。
- ・次年度も、コロナウイルスの影響も少なくなると予想されるので、子ども達と一緒に喜び楽しめる内容の行事を企画していきたい。

④生活支援グループ

永井健二 後藤華織 諏訪すずか 白井和枝

第1回（4月19日）

○今年度に活動内容の確認。

- ・昨年度からの活動を引き続き実施し子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるよう、1カ月から2カ月に1つ生活習慣の重点目標を提示・説明・を行い、各グループで継続し定着を図る。
- ・点検箇所等の確認

第2回（6月21日）

- 園庭などの清掃・除草
- 蜘蛛の巣の除去

### 第3回（9月20日）

- 各居室のエアコンの清掃とミーティングルームのエアコン清掃
- 網戸の破損個所の確認

### 第4回（11月15日）

- ゴミステーションのネズミの対策検討
- 年度末に向けての清掃及び修繕個所の確認

### 第5回（1月17日）

- 今年度の反省
  - ・ 日常業務や通年業務を滞りなく行うことができた。
  - ・ 生活習慣を身に付けるための重点目標を設定したことで、子どもたちが意識して生活するようになってきたので継続していきたい。
  - ・ 重点目標については、次年度に継続する物や新しく加えるものを検討する。

#### <重点目標>

- ・ 手洗い・爪切り・洗濯物の畳み方・靴の洗い方・洗髪・起床から登校までに行うこと

#### <日常業務>

- ・ 室内消毒や本棚の整頓等を行い、子ども達が生活しやすい空間づくりに努める。

#### <通年業務>

- ・ 職員玄関、子ども玄関の清掃
- ・ 職員、子どもの傘立ての確認
- ・ ミーティングルームの本棚の整理整頓
- ・ ゴミステーションの清掃

### ⑤研修支援グループ

- ・ 被措置児童虐待防止研修（5月17日、12月13日）
- ・ 性教育研修（7月19日）
- ・ 総合避難訓練と煙体験（3月4日）
- ・ 人権擁護、人権侵害防止の為のチェックリスト（5月、10月、2月）
- ・ 児童養護施設における人権擁護の為のチェックリスト（3月）

## 10. 総括

一昨年度地域小規模児童養護施設「琴平の家」を分園型小規模グループケアに転換し、今年度も「みやこ家」を同様に転換した。国が示す方向性で里親委託にシフトチェンジしている中で幼児の入所は激減しており、今後益々施設のあり方が問われていくことが想定される。そうした中、本体施設の6～8名の小規模グループケアが令和7年度までの認定であるため新たに分園型小規模グループケアを設置し、地域分散化・小規模化を進めなければならない、新たに1か所設置することで準備を進めて

いる。これで氏家養護園の完全小規模化・地域分散化の形は出来上がるため、真の家庭的養護を追求・実践していくことが望まれる。例年高校生のケアで苦慮することが多かったが、今年度もまた学校の卒業式には出席日数が間に合わず、後日個別で卒業を迎えたケースもあった。日々の生活を通じて関係性の構築に努めもっと深いところでのかかわりが持てるような支援を熟考していきたいものである。

## 指定管理者事業報告書

令和5年4月27日

さくら市長 花塚 隆志 様

	法人の名称	社会福祉法人 養徳園
	法人の所在地	栃木県さくら市喜連川1025
指定管理者	代表者名	理事長 野沢 浩 尉 (印)
	連絡担当者名	福田 敦子
	電話番号	028-612-2215

さくら市公の施設に係る指定管理者の手続きに関する条例第11条の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

1. 管理を行っている施設の名称及び所在地
  - (1) 施設の名称 南小学童センター
  - (2) 施設の所在地 栃木県さくら市上阿久津1774番地4号
2. 管理業務の実施機関  
令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで
3. 提出書類
  - (1) 管理業務の実施及び利用の状況
  - (2) 使用料又は利用に係る料金の収入の実績
  - (3) 管理に係る経費の収支状況
  - (4) 管理の実態を把握するために必要な事項
    - ① 苦情・事故等の状況
    - ② 施設・備品の修理状況
    - ③ 施設の維持管理に必要な業務委託の実施状況
    - ④ 職員の状況

## R4管理業務体制

### 1. 職員の管理体制

センター長	福田 敦子	常勤
学童保育指導員	小室 みず江	常勤
学童保育指導員	中山 智子	常勤
学童保育指導員	小堀 久美子	常勤
学童保育指導員	荒川 秀美	常勤
学童保育指導員	春日 容子	常勤
学童保育指導員	中村 洋子	常勤
学童保育指導員	柏木 広子	常勤
学童保育指導員	見目 和枝	常勤
学童保育指導員	木島 ひかり	常勤
学童保育指導員	菊池 千晴	常勤
学童保育指導員	黒尾 マリ子	代替職員
学童保育指導員	福田三江子	代替職員
学童保育指導員	中山 幸夫	代替職員
学童保育指導員	手塚春美	代替職員

### 2. 業務の委託計画

区分	
警備業務	セコム株式会社
館内清掃業務(床・窓・エアコンフィルター)	(株)日本ビルメン
消防用設備保守点検	栃木防災株式会社
館内日常清掃	職員

令和4年度 南小学童保育センター年間行事報告

1.活動のねらい

1. 安全と安心を第一目的とし、心休まるアットホームな居場所を提供する。
2. 家庭との連携をはかり、不測の事態に的確に対応できるよう努める。
3. ボランティア団体等と連携をし、地域の中で豊かな心身を育む。

2.在籍児童数 令和4. 4. 1現在 196名

		男	女	計
1年	B	18	22	40
2年	A	25	21	46
3年	E	15	15	30
4年	C	17	19	36
6年	C	5		5
5年	D	4	13	17
6年	D		5	5
		84	95	179

3. 主な行事 ①1・2年生(A・B センター)

主な行事	月日	参加人数A	参加人数B	主な行事	月日	参加人数A	参加人数B
鯉のぼり製作	4/18	41	34	敬老の日プレゼント製作	9/15	33	32
誕生会	4/28	21	35	ハロウィンリース製作	10/13	31	34
母の日カード製作	5/2	28	30	ハロウィン帽子製作	10/21	35	34
誕生会	5/31	38	34	ハロウィンパーティー	10/28	11	38
父の日カード製作	6/13	39	39	誕生会	10/31	32	36
誕生会	6/29	37	37	誕生会	11/30	41	31
七夕飾り製作	6/20	40	35	避難訓練	11/29	31	35
				クリスマス飾り製作	12/2	33	36
誕生会	7/13	32	32	クリスマスツリー製作	12/16	25	32
ミニ夏祭り	7/26	23	23	Xmas会	12/12	31	18
				お誕生会	12/21	26	29
工作教室	8/9	21	22	絵馬・こま製作	1/6	18	18
お楽しみ会	8/23	22	29	季節の工作(鬼のコップ)	1/25	28	33
誕生会	8/31	28	22	誕生会	1/31	27	37
誕生会	9/30	35	37	雛飾り製作	2/21	14	38
				誕生会	2/28	25	33
				お楽しみ会	3/7	27	38
				誕生会	3/15	27	36

主な行事 ②3年生(E分室)

主な行事	月日	参加人数E	主な行事	月日	参加人数E
鯉のぼり製作	4/19	20	敬老の日プレゼント製作	9/15	24
誕生会	4/28	25	ハロウィンお面製作	10/26	20
母の日カード製作	5/6	22	誕生会	10/31	25
誕生会	5/31	22	ハロウィンパーティー	10/28	26
父の日カード製作	6/15	220	誕生会	11/30	18
誕生会	6/29	24	避難訓練	12/8	18
七夕飾り製作	6/20	23	クリスマス飾り製作	11/14	22
誕生会	7/13	23	Xmas会	12/12	22
ミニ夏祭り	7/26	18	お誕生会	12/21	20
工作教室	8/9	25	絵馬・こま製作	1/6	15
工作教室	8/2	24	誕生会	1/31	24
工作教室	8/19	14	節分のお祝い	2/3	23
お楽しみ会	8/23	20	雛飾り製作	2/24	19
誕生会	8/31	24	誕生会	2/28	21
誕生会	9/30	23	お楽しみ会	3/7	22
			誕生会	3/15	20

③4～6年生(C・D プール棟)

主な行事	月日	参加人数C	参加人数D	主な行事	月日	参加人数C	参加人数D
鯉のぼり製作	4/20	33	16	敬老の日プレゼント製作	9/14	24	13
誕生会	4/30	35	14	誕生会	9/30	24	16
母の日カード製作	5/2	30	13	ハロウィンお面製作	10/13	28	13
誕生会	5/31	32	16	ハロウィンパーティー	10/28	25	11
				誕生会	10/31	26	12
父の日カード製作	6/13	27	18	誕生会	11/30	26	11
誕生会	6/29	26	19	避難訓練	12/1	24	11
七夕飾り製作	6/20	27	17	クリスマス飾り製作	12/14	23	12
誕生会	6/29	30	15	Xmas会	12/12	23	12
誕生会	7/13	26	14	お誕生会	12/21	2	7
ミニ夏祭り	8/3	21	6	絵馬・こま製作	1/6	10	3
お楽しみ会	8/23	20	7	節分の製作	1/6	31	18
誕生会	8/31	27	14	誕生会	1/31	22	10
				節分のお祝い	2/3	22	8
				誕生会	2/28	22	9
				6年生を送る会	3/8	23	9
				誕生会(2月3月生)	3/15	25	7

## 5. 施設・備品の修繕状況

手すり取り付け工事	R4.6.22	玄関スロープ手すりが外れたため
無停電電源装置取り替え工事	R4.9.30	センター長室UPSの更新
蛇口交換・浄水器設置	R5.1.27	プール棟と新築等の給湯室蛇口に浄水器を設置
男子トイレ改修工事	R5.3.27	センター男子トイレの個室を1ヵ所増やすため

## 6. 施設の維持管理に必要な業務委託の実施状況

業務委託の内容	契約日	実施日	委託金額	委託業者名
スクリレオプション		R4.6.15	89,100	システム興産
ウイルスバスターセキュリティ			13,200	
草むしり		R4.7.4	18,886	シルバー人材センター
学童センター内清掃 プール棟内清掃 新築棟内清掃		R4.8.15	63,000 35,000 45,000 税14,300	日本ビルメン
学童センター内清掃 プール棟内清掃 新築棟内清掃			R5.2.15	
消防設備点検		R4.11.15	13,200	栃木防災(株)
		R5.3.15	13,200	
玄関マット・モップ 5ヵ所分		R5.3.31	71,400	ユニオン化学(株)
コピーリース	H29.11.10		11,880	シャープ ファイナンス
AED・セコム	R4.1.11		12,188	セコム(株)